

(2) 香道

本調査では、香道への興味関心や経験の有無等の把握を目的として2万人にウェブアンケート調査を実施した。

アンケートでは、香道を稽古場等で習ったような経験者、イベント等で体験した体験者、全く経験がない未経験者がいることが想定されることから、香道の経験・体験の有無について回答する設問を設けた。その上で、下記の表のように経験の深度に応じた専用の設問群を設けることで、各回答者の香道への興味関心の有無などの把握を行った。

■分野設問の項目

<p>「1. 習っている (いた)、あるいは教える立場にいる (いた)」と回答した者への設問</p>	<p>BQ1 : 香道を習い始めたきっかけ BQ2 : 香道を始めた当初の習い方 BQ2 補問 : 当初の習い方を選んだ理由 BQ3 : 現在の継続状況 BQ3 補問1 : 香道を続けている理由 BQ3 補問2 : 香道から離れたきっかけや理由 BQ4 : 香道を続けている (続けていた) 年数 BQ5 : 香道に関する活動内容 BQ6 : 香道に関する活動頻度 BQ7 : 香道に関する月額費用 BQ8 : 香道に関する興味関心や魅力</p>
<p>「2. 学校の授業や職場の研修、イベント等で香会や香席に参加した経験はある」と回答した者への設問</p>	<p>BQ9 : 香道を体験したきっかけ BQ10 : 香道を体験した場 BQ11 : 香道を習いやすい状況 BQ12 : 香道に支払える月額費用 BQ13 : 香道を習っていない理由 BQ14 : 香道に対する印象やイメージ BQ15 : 香道に関する興味関心や魅力</p>
<p>「3. 今まで経験したことはない」と回答した者への設問</p>	<p>BQ16 : 参加してみたい香道の体験内容 BQ17 : 参加しやすい香道の体験条件 BQ18 : 香道を体験したことがない理由 BQ19 : 香道に対する印象やイメージ BQ20 : 香道に関する興味関心や魅力</p>

①単純集計の結果について

■全調査対象者への設問

香道を経験した者、あるいは全く触れたことがない者がどの程度いるのかは、統計調査等では明らかとなっていない。加えて、香道の「経験」にも深度があり、いわゆる稽古場や教室等で習った経験がある者や、稽古場や教室等で教える立場にいる者、あるいは、イベント等で香道の体験をしたことがある者等がいると想定される。経験の有無を大別するならば、教室等で習ったあるいは教える立場にいる者、イベント等で体験をした者、そして経験をしたことがない者に分けることができると考えられる。

本設問では、上記の想定に基づき、香道の経験の有無とあわせて、経験の深度を図る選択肢を設けて、実態の把握を行った。

香道の経験の有無

経験率を見ると、「習っている(いた)、あるいは教える立場にいる(いた)」(以下、「経験あり」)回答比率は2.0% (391人)、「学校の授業や職場の研修、イベント等で香会や香席に参加した経験はある」(以下、「参加体験あり」) 6.1% (1,227人)、「今まで経験したことはない」(以下「未経験」) 91.9% (18,382人) となった。

「経験あり」「参加体験あり」の回答比率とも、男女で大きな差はない。

年齢別では、「経験あり」、「参加体験あり」と回答した者共に18~20代が最も多く、年齢が高くなるに連れて減少し、60代から逆に増加するという傾向となっており、現役世代の「経験あり」、「参加体験あり」の回答比率が低い結果となった。

		n=	(%)		
			習っている(いた)、あるいは教える立場にいる(いた)	学校の授業や職場の研修、イベント等で香会や香席に参加した経験はある	今まで経験したことはない
全体		20,000	2.0	6.1	91.9
性別	男	9,645	1.8	5.5	92.7
	女	10,202	2.1	6.8	91.1
	それ以外/答えたくない	153	0.7	4.6	94.8
年齢	18~20代	2,781	3.2	8.5	88.3
	30代	2,691	2.7	7.2	90.1
	40代	3,496	1.6	5.1	93.3
	50代	3,178	1.0	4.7	94.3
	60代	3,002	1.6	5.1	93.3
	70代以上	4,852	1.9	6.5	91.6

集計表 F Q 2 : 香道の経験の有無

■香道を「習っている（いた）、あるいは教える立場にいる（いた）」と回答した者への設問（BQ1～BQ8）

本設問群では、香道を経験したと回答した者が、どのようなきっかけや機会でも香道を習うようになったのか、興味関心を持っているのか等、経験の実態を把握するためのアンケートを実施した。

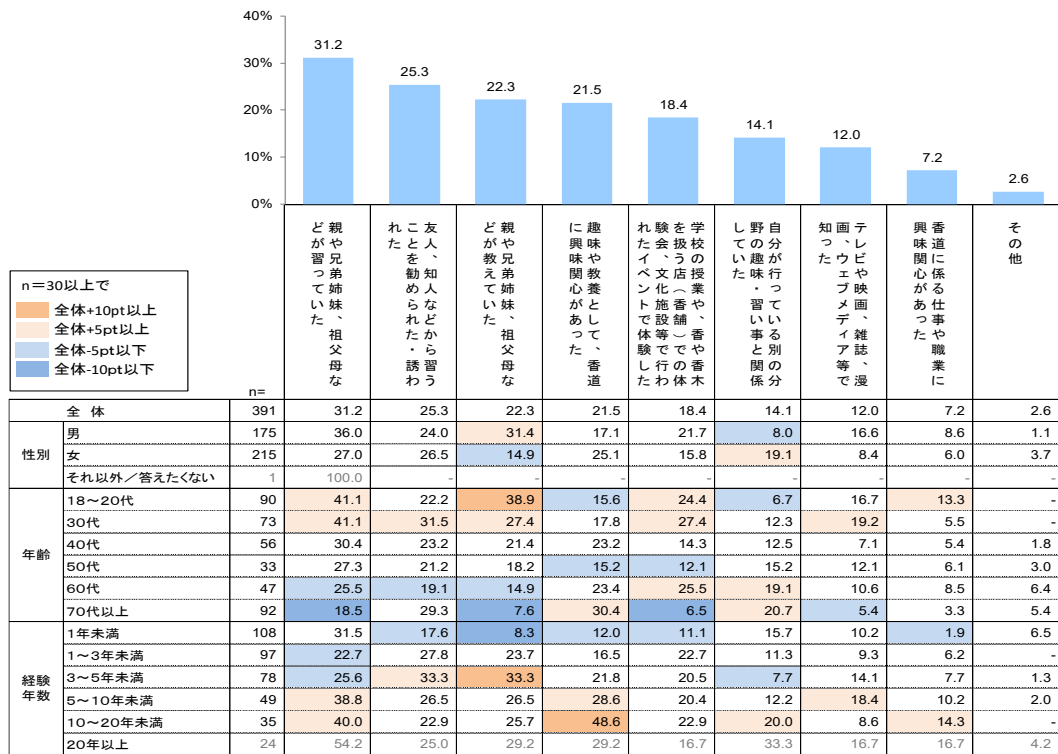
香道を習い始めたきっかけ

全体平均で最も回答比率が高いのは「親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた」の31.2%で、次いで「友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた」25.3%、「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」22.3%、「趣味や教養として、香道に興味関心があった」21.5%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」(31.4%)の回答が全体平均より高く、女性は「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」(19.1%)の回答比率が高い。

次に、年齢別で見ると、10～30代で「親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた」、「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」、「学校の授業や、香や香木を扱う店（香舗）での体験会、文化施設等で行われたイベントで体験した」の回答比率が全体平均よりも高い。

経験年数別で見ると、「親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた」、「趣味や教養として、香道に興味関心があった」については、経験年数が長いほど回答比率が高くなっている。



集計表 BQ1：香道を習い始めたきっかけ

(その他の内容) 茶道の一環として習った

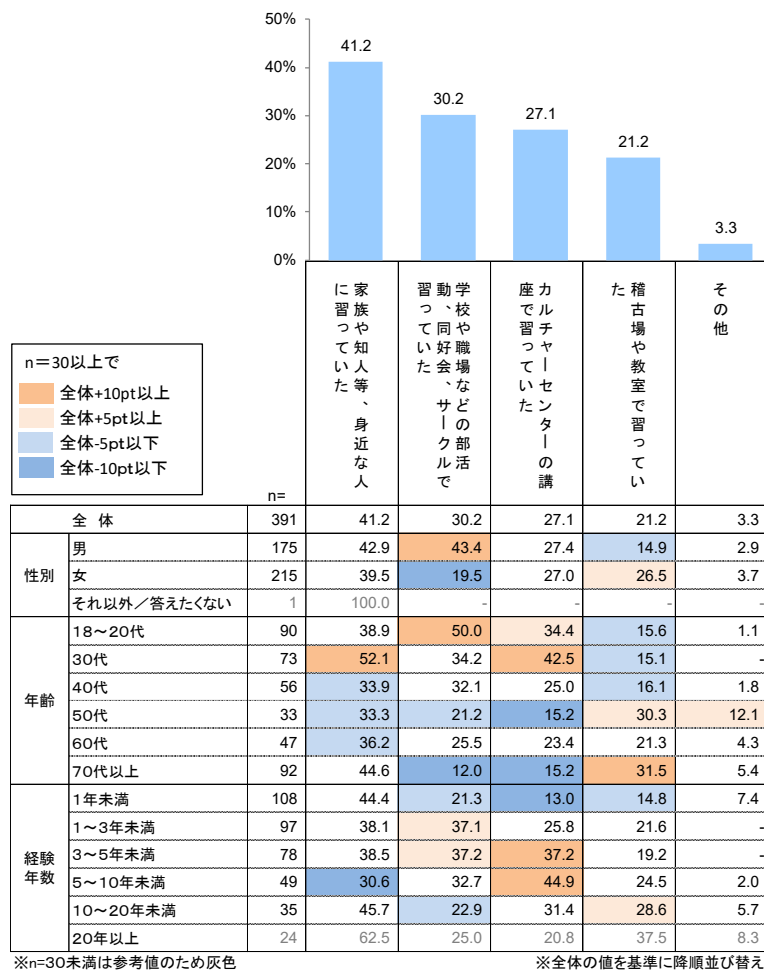
香道を始めた当初の習い方

全体平均で最も回答比率が高いのは「家族や知人等、身近な人に習っていた」の41.2%で、次いで「学校や職場などの部活動、同好会、サークルで習っていた」30.2%、「カルチャーセンターの講座で習っていた」27.1%、「稽古場や教室で習っていた」21.2%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「学校や職場などの部活動、同好会、サークルで習っていた」(43.4%)が全体平均より高く、女性では(19.5%)と低い。逆に「稽古場や教室で習っていた」では、男性(14.9%)が低く、女性(26.5%)が高い。

次に年齢別では、10～30代で「カルチャーセンターの講座で習っていた」の回答比率が高く、10～40代で「稽古場や教室で習っていた」の回答比率が低い傾向が見られる。

また、経験年数別で見た場合、3～10年未満の者は、「カルチャーセンターの講座で習っていた」傾向が高く、10年以上の者は「稽古場や教室で習っていた」傾向が高い。



集計表 BQ2：香道を始めた当初の習い方

(その他の内容) 販売の仕事をしていた、お茶会の中でやっていた

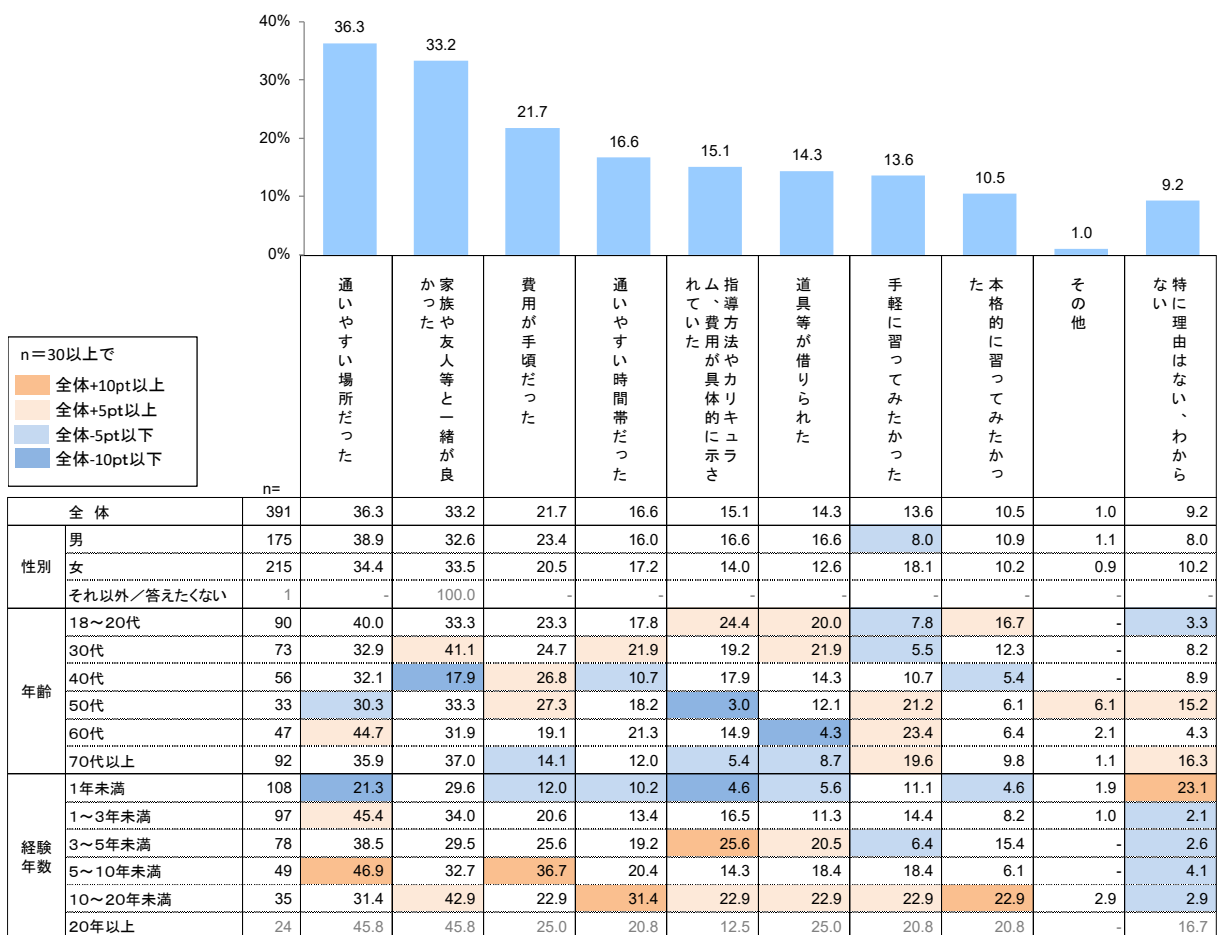
当初の習い方を選んだ理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「通いやすい場所だった」の36.3%で、次いで「家族や友人等と一緒に良かった」33.2%、「費用が手頃だった」21.7%、「通いやすい時間帯だった」16.6%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「手軽に習ってみたかった」(8.0%)の回答比率が低い。

次に、年齢別で見ると、10~30代で「道具等が借りられた」の回答比率が高い傾向がある。また、「手軽に習ってみたかった」については、10~30代の回答比率が全体平均より低く、50代以上で高い。

経験年数別では、経験年数10年以上で「家族や友人等と一緒に良かった」、「道具等が借りられた」、「手軽に習ってみたかった」、「本格的に習ってみたかった」など多くの選択肢の回答比率が全体平均より高い一方、1年未満では「特に理由はない、わからない」を除く全てにおいて全体平均より低い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 BQ2補問：当初の習い方を選んだ理由

(その他の内容) 販売の仕事をしていた、茶道の中で

現在の継続状況

継続状況については、「続けている」46.0%（180人）、「続けない」54.0%（211人）と、続けないとの回答比率が高い。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「続けない」が34.9%と低く、女性で69.8%と高い。

次に、年齢別で見ると、年代が上がっていくに従って、継続率が下がっていく傾向が見られる。

経験年数別は3年以上で「続けている」という回答が半数を上回り、10年以上では7割以上が継続していることが分かる。

			(%)	
			続けている	続けない
n=				
全体		391	46.0	54.0
性別	男	175	65.1	34.9
	女	215	30.2	69.8
	それ以外/答えたくない	1	100.0	
年齢	18~20代	90	77.8	22.2
	30代	73	69.9	30.1
	40代	56	55.4	44.6
	50代	33	36.4	63.6
	60代	47	12.8	87.2
	70代以上	92	10.9	89.1
経験年数	1年未満	108	20.4	79.6
	1~3年未満	97	43.3	56.7
	3~5年未満	78	57.7	42.3
	5~10年未満	49	51.0	49.0
	10~20年未満	35	82.9	17.1
	20年以上	24	70.8	29.2

※n=30未満は参考値のため灰色

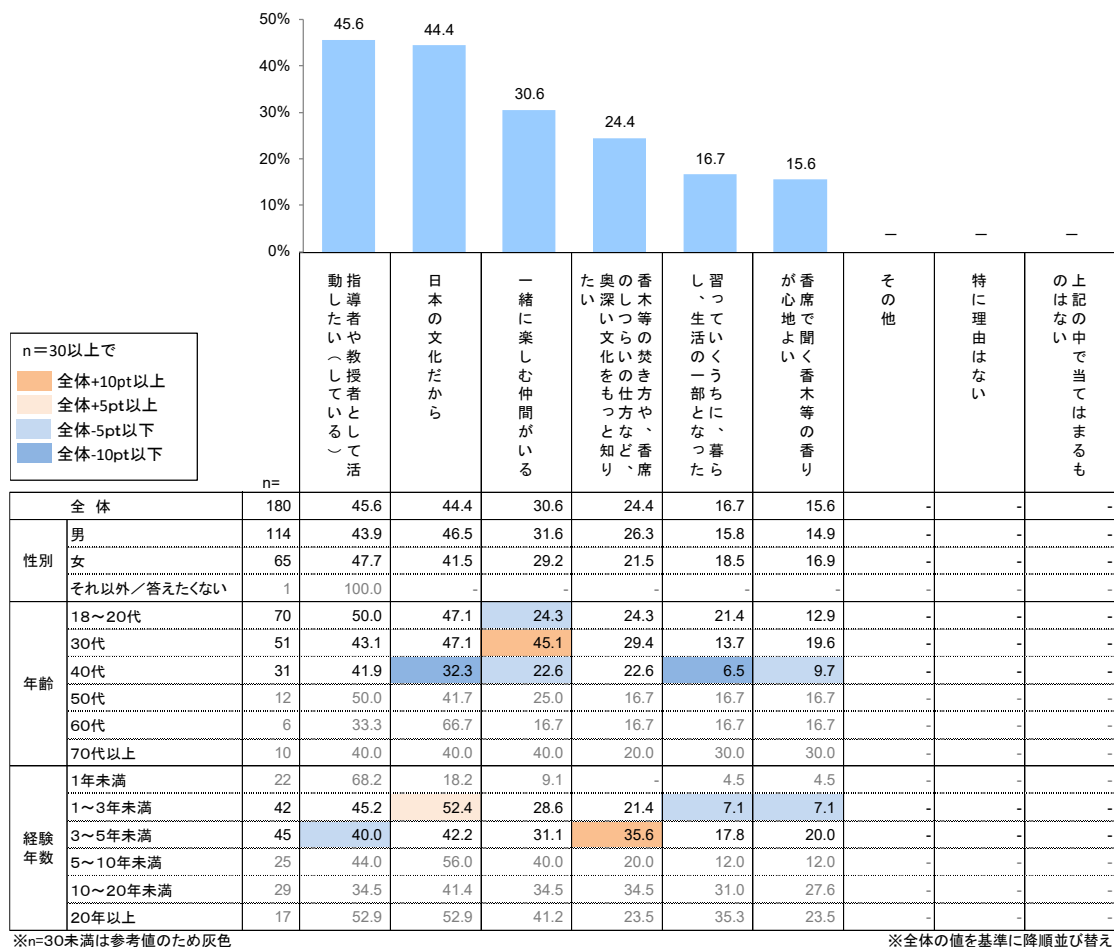
集計表 BQ3：現在の継続状況

香道を続けている理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「指導者や教授者として活動したい(している)」の45.6%で、次いで「日本の文化だから」44.4%、「一緒に楽しむ仲間がいる」30.6%、「香木等の焚き方や、香席のしつらいの仕方など、奥深い文化をもっと知りたい」24.4%と続く。

全体平均の回答比率と年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、年齢別では、30代で「一緒に楽しむ仲間がいる」(45.1%)の回答比率が全体平均より高い一方、40代では「日本の文化だから」(32.3%)をはじめ、複数の項目で回答比率が全体平均より低い。

また、経験年数別では、1～3年未満の者は、「日本の文化だから」(52.4%)の回答比率が高い一方、「習っていくうちに、暮らし、生活の一部となった」、「香席で聞く香木等の香りが心地よい」(共に7.1%)と低い。また、3～5年未満の者は、「香木等の焚き方や、香席のしつらいの仕方など、奥深い文化をもっと知りたい」(35.6%)の回答比率が高い一方、「指導者や教授者として活動したい(している)」(40.0%)の回答比率が低く、経験年数によって、継続理由が異なる傾向がうかがえる。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 BQ3補問1：香道を続けている理由

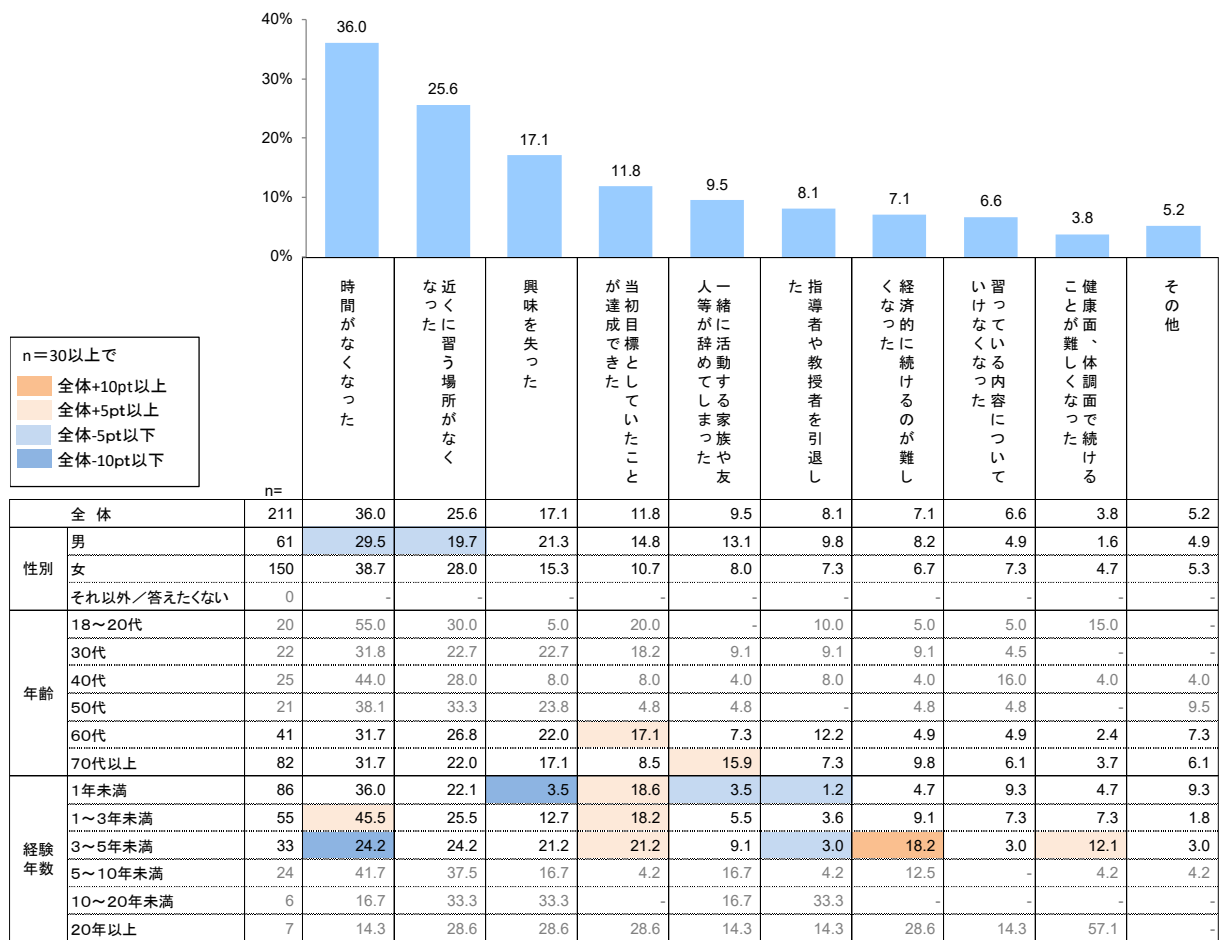
香道から離れたきっかけや理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「時間がなくなった」の36.0%で、次いで「近くに習う場所がなくなった」25.6%、「興味を失った」17.1%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では、男性で「時間がなくなった」(29.5%)、「近くに習う場所がなくなった」(19.7%)の回答比率が低い。

年齢別で見ると、60代で「当初目標としていたことが達成できた」(17.1%)、70代以上で「一緒に活動する家族や友人等が辞めてしまった」(15.9%)の回答比率が高い。

また、経験年数別では、5年未満の者は「当初目標としていたことが達成できた」の回答比率が高い傾向にある。また、3～5年未満の者の場合は、「経済的に続けるのが難しくなった」(18.2%)の回答比率も高いが、「時間がなくなった」(24.2%)の回答比率は低い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 BQ3補問2：香道から離れたきっかけや理由

(その他の内容) 転居が多かった、退部した、お茶をやめた

香道を続けている（続けていた）年数

全体平均で最も回答比率が高いのは「1年未満」の27.6%で、次いで「1～3年未満」24.8%、「3～5年未満」19.9%となっている。全体平均で3年以上続けている（いた）人の回答比率は47.6%となっている。

男女別では、3年以上継続している者は、男性で50.9%（175人中89人）、女性で44.7%（215人中96人）となっており、男性の方が長く続けている（いた）人の割合が高いことが分かる。

		n=	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	3年以上
全体		391	27.6	24.8	19.9	12.5	9.0	6.1	47.6
性別	男	175	25.1	24.0	20.0	13.1	13.1	4.6	50.9
	女	215	29.8	25.6	20.0	12.1	5.1	7.4	44.7
	それ以外／答えたくない	1	100.0						100.0
年齢	18～20代	90	22.2	24.4	28.9	13.3	6.7	4.4	53.3
	30代	73	26.0	30.1	20.5	9.6	8.2	5.5	43.8
	40代	56	23.2	12.5	25.0	16.1	17.9	5.4	64.3
	50代	33	33.3	15.2	15.2	21.2	15.2		51.5
	60代	47	29.8	38.3	6.4	8.5	6.4	10.6	31.9
	70代以上	92	33.7	25.0	16.3	10.9	5.4	8.7	41.3

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 BQ4：香道を続けている（続けていた）年数

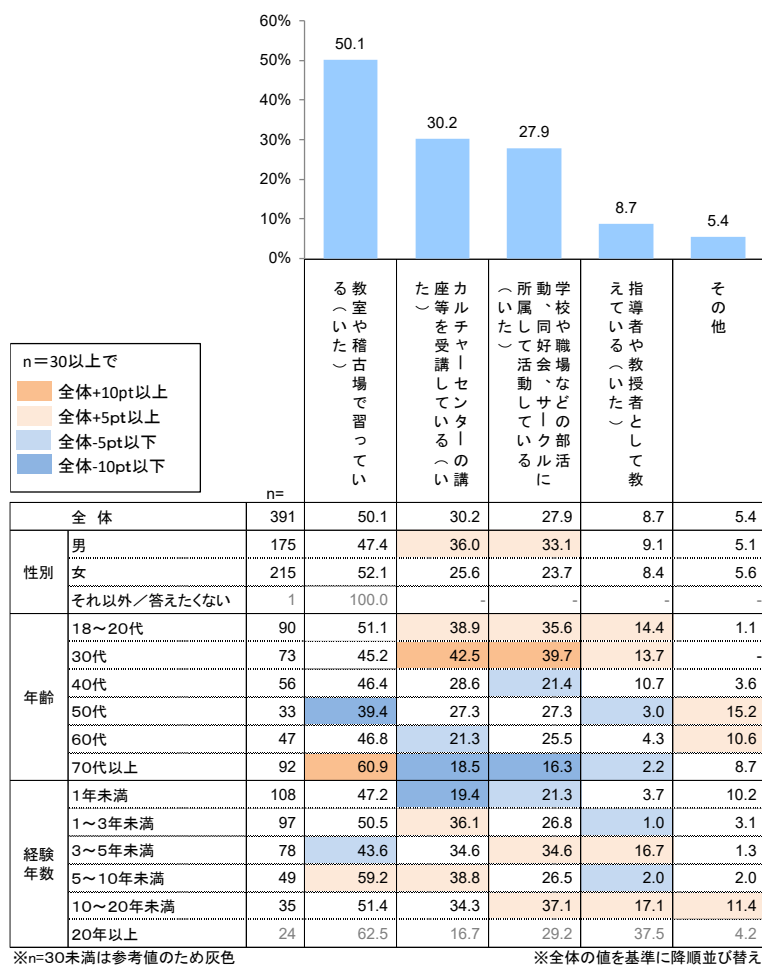
香道に関する活動内容

全体平均で最も回答比率が高いのは「教室や稽古場で習っている (いた)」の 50.1%で、次いで「カルチャーセンターの講座等を受講している (いた)」30.2%、「学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している (いた)」27.9%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「カルチャーセンターの講座等を受講している (いた)」(36.0%)、「学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している (いた)」(33.1%) の回答比率が高い。

次に年齢別では、10～30代で「カルチャーセンターの講座等を受講している (いた)」の回答比率が高い一方で、60代以上では低くなっている。また、10～30代では「学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している (いた)」や「指導者や教授者として教えている (いた)」の回答比率が高い。

経験年数別では、3～5年未満及び10年～20年以上で「指導者や教授者として教えている (いた)」という回答比率が高くなっている。



集計表 BQ5 : 香道に関する活動内容

(その他の内容) 日常的に楽しんでいる、販売の仕事をしている、独学

香道に関する活動頻度

全体平均で最も回答比率が高いのは「週1回程度」の23.3%で、次いで「月数回程度」17.4%、「月1回程度」14.1%と続く。週1回以上活動している（いた）回答比率は50.9%（391人中199人）である。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では、男性で週1回以上活動している（いた）回答比率が58.9%（175人中103人）、女性で44.2%（215人中95人）となっている。

年齢別で見ると、10～30代で、週1回以上活動している（いた）回答比率が全体平均を上回っている。

また、経験年数別では、経験年数が1～10年未満の者で「週1回程度」の回答比率が高い。

		n=	ほぼ毎日	週に2～3回	週1回程度	月数回程度	月1回程度	年数回程度	年1回程度	(%)
全体		391	13.8	13.8	23.3	17.4	14.1	6.4	11.3	50.9
性別	男	175	18.3	17.7	22.9	14.9	11.4	5.7	9.1	58.9
	女	215	9.8	10.7	23.7	19.5	16.3	7.0	13.0	44.2
	それ以外／答えたくない	1	100.0							100.0
年齢	18～20代	90	27.8	24.4	25.6	11.1	6.7	3.3	1.1	77.8
	30代	73	15.1	19.2	21.9	15.1	13.7	6.8	8.2	56.2
	40代	56	17.9	12.5	16.1	23.2	14.3	5.4	10.7	46.4
	50代	33	6.1	15.2	9.1	15.2	18.2	12.1	24.2	30.3
	60代	47	4.3	4.3	38.3	17.0	12.8	6.4	17.0	46.8
	70代以上	92	4.3	4.3	23.9	22.8	20.7	9.8	14.1	32.6
経験年数	1年未満	108	13.9	5.6	11.1	13.0	18.5	7.4	30.6	30.6
	1～3年未満	97	7.2	22.7	32.0	16.5	10.3	8.2	3.1	61.9
	3～5年未満	78	9.0	20.5	32.1	16.7	11.5	6.4	3.8	61.5
	5～10年未満	49	10.2	6.1	34.7	26.5	18.4	2.0	2.0	51.0
	10～20年未満	35	20.0	20.0	11.4	25.7	11.4	8.6	2.9	51.4
	20年以上	24	54.2				8.3	12.5	12.5	12.5

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 BQ6：香道に関する活動頻度

香道に関する月額費用

全体平均で最も回答比率が高いのは月額「5,000円未満」の42.5%で、次いで「5,000円以上～10,000円未満」18.4%、「10,000円以上～15,000円未満」14.3%と続く。なお、月額1万円以上支出している（いた）と回答した比率は39.1%（391人中153人）である。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、月額1万円以上支出の割合は、男性50.3%（175人中88人）、女性30.2%（215人中65人）と男女差が見られる。

次に、年齢別で見ると、年齢が低いほど、月額1万円以上支出している（いた）割合が高いことが分かる。

経験年数別では、経験年数1年未満の者は月額「5,000円未満」（77.8%）の回答比率が高い一方、経験年数が1年以上の者は月額5,000円以上支出している（いた）割合が高い。

		n=	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円以上	合計	
		n=	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円未満	5,000円以上	合計	
全体		391	42.5	18.4	14.3	7.2	5.4	3.8	2.3	1.0	1.0	0.8	3.3	39.1
性別	男	175	34.3	15.4	18.3	10.3	6.3	3.4	4.0	0.6	1.7	1.1	4.6	50.3
	女	215	48.8	20.9	11.2	4.7	4.7	4.2	0.9	1.4	0.5	0.5	2.3	30.2
それ以外／答えたくない		1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢	18～20代	90	24.4	17.8	15.6	14.4	13.3	3.3	4.4	-	2.2	2.2	2.2	57.8
	30代	73	32.9	13.7	17.8	13.7	5.5	4.1	4.1	4.1	-	-	4.1	53.4
	40代	56	35.7	19.6	10.7	5.4	3.6	10.7	3.6	1.8	1.8	-	7.1	44.6
	50代	33	51.5	18.2	21.2	-	-	-	-	-	3.0	3.0	3.0	30.3
	60代	47	44.7	31.9	17.0	2.1	-	-	-	-	-	-	4.3	23.4
	70代以上	92	67.4	15.2	8.7	1.1	3.3	3.3	-	-	-	-	1.1	17.4
経験年数	1年未満	108	77.8	13.9	4.6	1.9	0.9	-	-	-	0.9	-	-	8.3
	1～3年未満	97	37.1	25.8	19.6	7.2	3.1	3.1	3.1	1.0	-	-	-	37.1
	3～5年未満	78	24.4	23.1	16.7	11.5	11.5	3.8	5.1	2.6	1.3	-	-	52.6
	5～10年未満	49	26.5	16.3	16.3	10.2	6.1	12.2	4.1	-	4.1	4.1	-	57.1
	10～20年未満	35	22.9	11.4	22.9	5.7	11.4	5.7	-	2.9	-	2.9	14.3	65.7
20年以上	24	25.0	8.3	12.5	12.5	4.2	4.2	-	-	-	-	33.3	66.7	

※n=30未満は参考値のため灰色

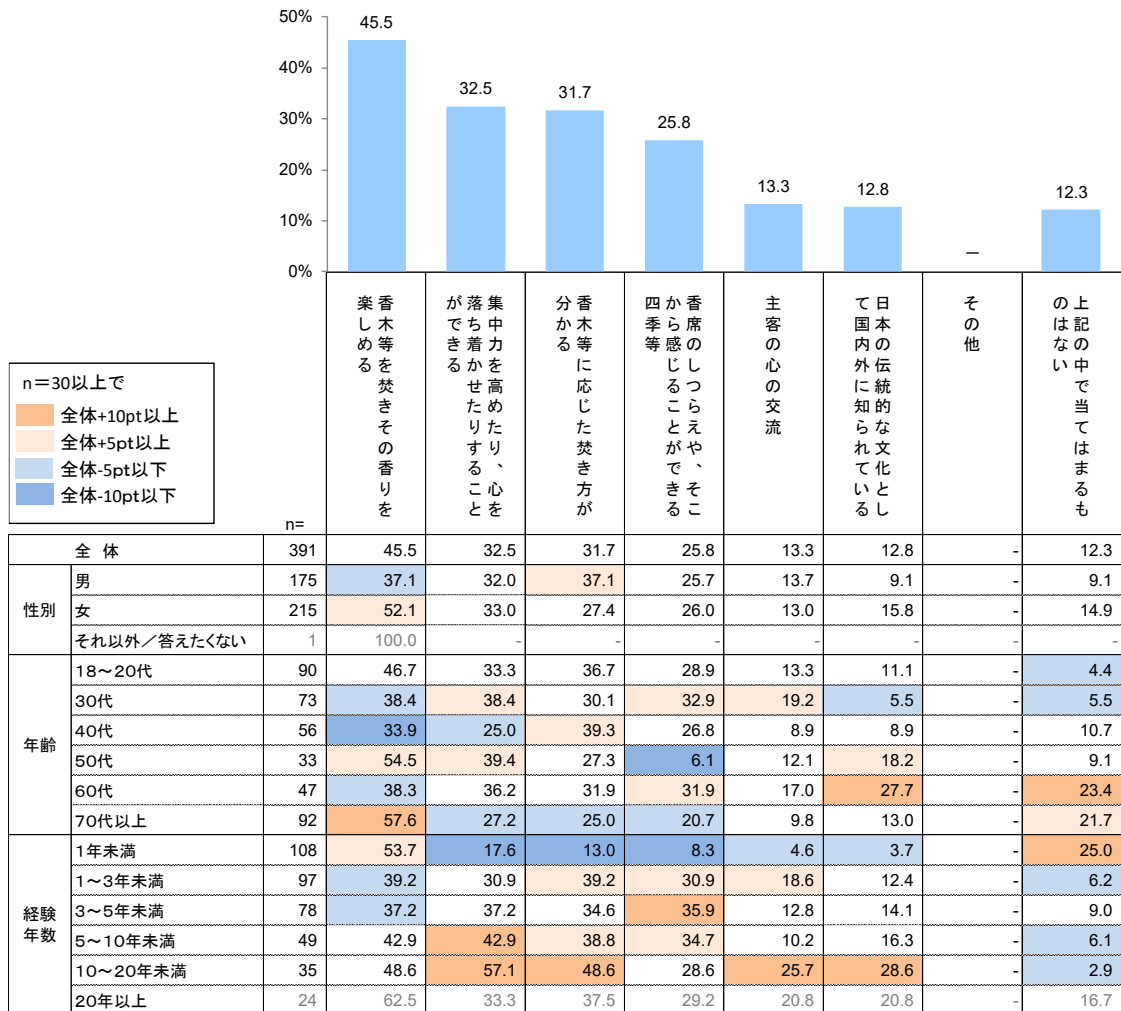
集計表 BQ7：香道に関する月額費用

香道に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「香木等を焚きその香りを楽しめる」の45.5%で、次いで「集中力を高めたり、心を落ち着かせたりすることができる」32.5%、「香木等に応じた焚き方が分かる」31.7%、「香席のしつらえや、そこから感じることができる四季等」25.8%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、「香木等を焚きその香りを楽しめる」の全体平均45.5%に対し、男性の回答比率が37.1%と低い一方で、女性は52.1%と高い。また、「香木等に応じた焚き方が分かる」では男性(37.1%)の回答比率が高い。

経験年数別では、経験年数10年以上で「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」の回答比率が高い。また、経験年数10～20年未満の者は、「集中力を高めたり、心を落ち着かせたりすることができる」(57.1%)をはじめ、複数の項目で回答比率が全体平均より高く、経験年数が長いほど、関心や魅力も広がる傾向がうかがえる。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 BQ8：香道に関する興味関心や魅力

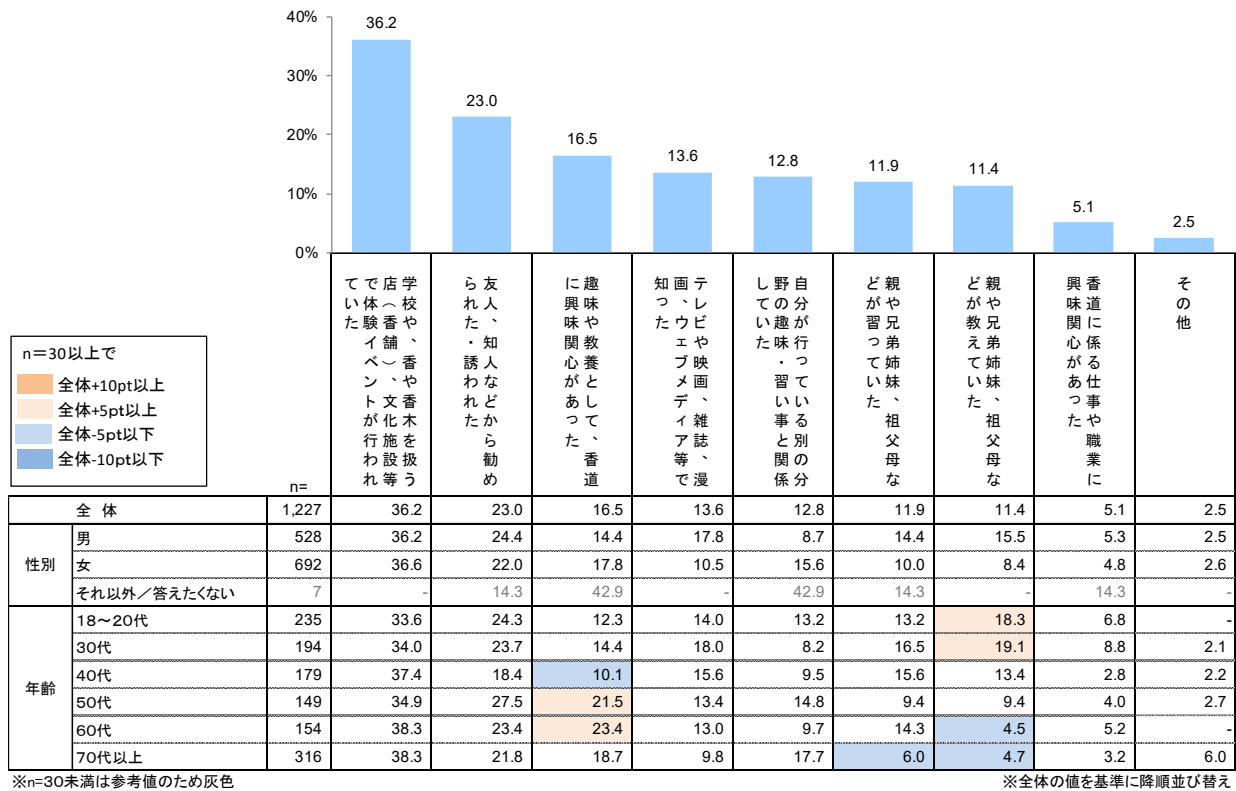
■香道を「学校の授業や職場の研修、イベント等で香会や香席に参加した経験はある」と回答した者への設問（BQ9～BQ15）

本設問では、香道をイベント等で体験したと回答した者が、どのようなきっかけや機会では香道を体験したのか、また、どの程度香道に興味関心を持っているのか等を把握するためのアンケートを実施した。

香道を体験したきっかけ

全体平均で最も回答比率が高いのは「学校や、香や香木を扱う店（香舗）、文化施設等で体験イベントが行われていた」の36.2%で、次いで「友人、知人などから勧められた・誘われた」23.0%、「趣味や教養として、香道に興味関心があった」16.5%、「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」13.6%、「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」12.8%と続く。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較すると、10～30代で「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」の回答比率が高く、対照的に60代以上では回答比率が低い傾向にある。



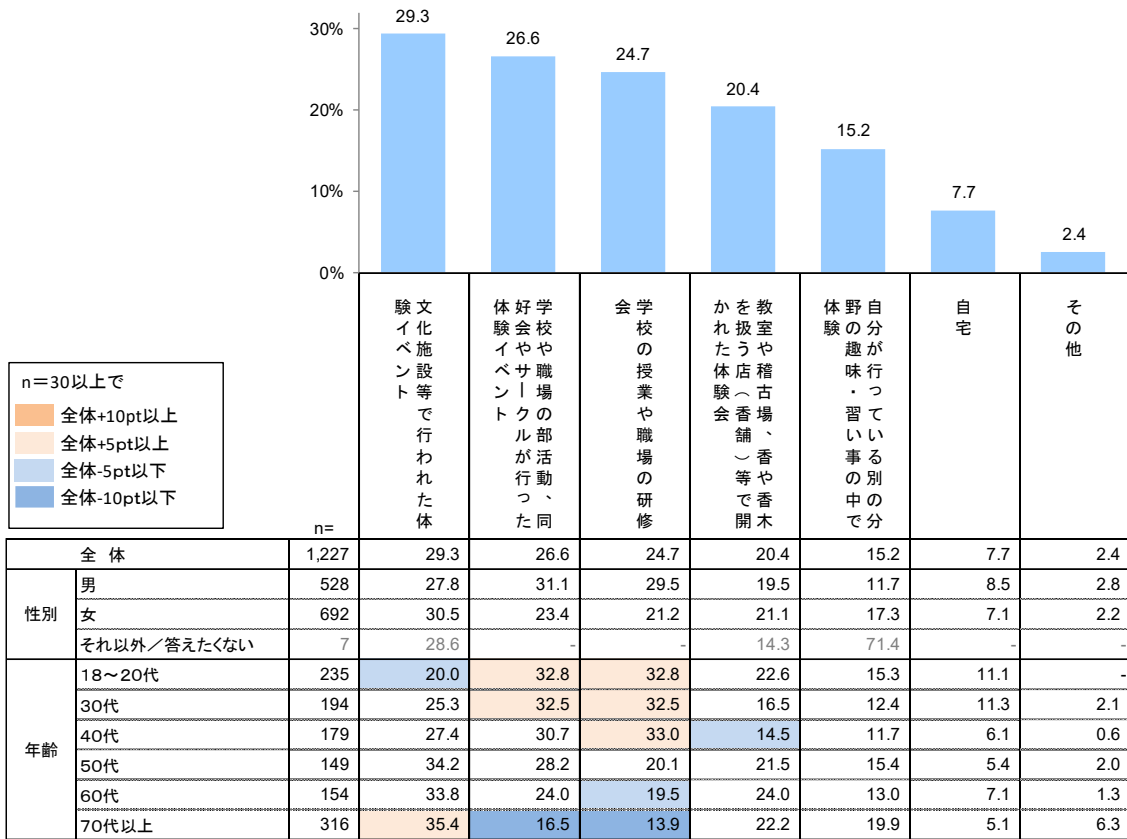
集計表 BQ9：香道を体験したきっかけ

(その他の内容) 大学の授業、職場での研修の一環

香道を体験した場

全体平均で最も回答比率が高いのは「文化施設等で行われた体験イベント」の29.3%で、次いで「学校や職場の部活動、同好会やサークルが行った体験イベント」26.6%、「学校の授業や職場の研修会」24.7%、「教室や稽古場、香や香木を扱う店（香舗）等で開かれた体験会」20.4%となる。

全体平均と年齢別の回答比率とを比較すると、若年者ほど「学校の授業や職場の研修会」、「学校や職場の部活動、同好会やサークルが行った体験イベント」の回答比率が高い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

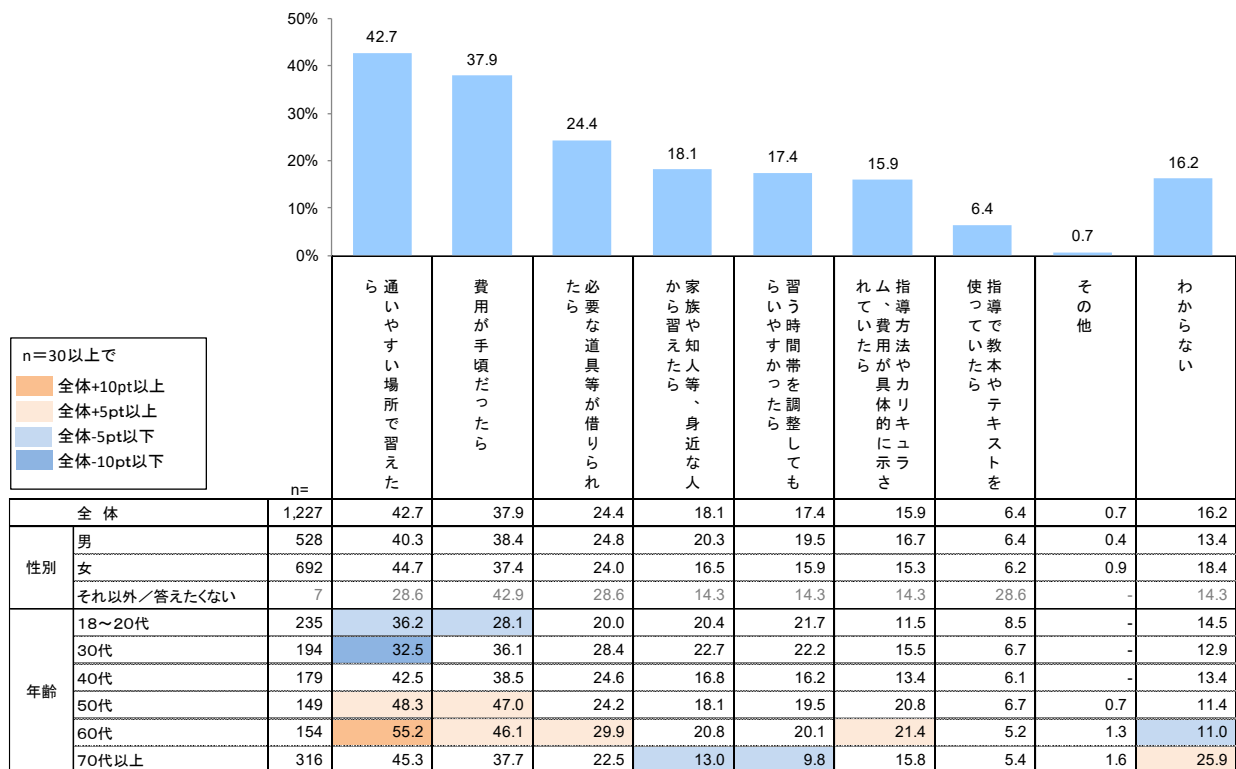
集計表 BQ10：香道を体験した場

(その他の内容) 友人の家、仕事

香道を習いやすい状況

全体平均で最も回答比率が高いのは「通いやすい場所で習えたら」の42.7%で、次いで「費用が手頃だったら」37.9%、「必要な道具等が借りられたら」24.4%、少し離れて「家族や知人等、身近な人から習えたら」18.1%、「習う時間帯を調整してもらいやすかったら」17.4%と並ぶ。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較した場合、10～30代で「通いやすい場所で習えたら」の回答比率がやや低い一方、50～60代でやや高い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 BQ11：香道を習いやすい状況

(その他の内容) 茶会、香炉や炭が有るから自宅で楽しんでいる

香道に支払える月額費用

全体平均で最も回答比率が高いのは「5,000円未満」の55.1%で、次いで「5,000円以上～10,000円未満」23.1%、「10,000円以上～15,000円未満」8.5%となった。月額1万円以上支払ってもよいとした回答比率は21.8%（1,227人中268人）である。

次に男女別を見ると、男性で月額1万円以上支払ってもよいという回答比率が31.4%（528人中166人）あったのに対し、女性は14.5%（692人中100人）にとどまる。

また、年齢別では、年齢が若いほど月額1万円以上支払ってもよいという回答が増える傾向がある。

		(%)												
		n=	5,000円未満	5,000円以上～10,000円未満	10,000円以上～15,000円未満	15,000円以上～20,000円未満	20,000円以上～25,000円未満	25,000円以上～30,000円未満	30,000円以上～35,000円未満	35,000円以上～40,000円未満	40,000円以上～45,000円未満	45,000円以上～50,000円未満	50,000円以上	合計
性別	全体	1,227	55.1	23.1	8.5	5.3	2.9	1.6	1.1	0.7	0.3	0.2	1.1	21.8
	男	528	44.7	23.9	12.5	7.6	4.2	2.5	1.1	1.1	0.4	0.2	1.9	31.4
	女	692	63.2	22.4	5.5	3.6	1.9	0.9	1.2	0.4	0.3	0.1	0.6	14.5
	それ以外／答えたくない	7	42.9	28.6	-	-	-	14.3	-	-	-	-	14.3	-
年齢	18～20代	235	37.0	26.8	11.5	9.4	4.3	3.4	2.1	1.3	0.4	1.3	2.6	36.2
	30代	194	49.5	19.6	12.4	6.7	4.1	2.6	2.6	1.5	-	-	1.0	30.9
	40代	179	49.7	23.5	10.1	7.8	4.5	1.1	1.1	1.1	-	-	1.1	26.8
	50代	149	53.7	24.8	8.7	5.4	2.7	0.7	0.7	-	1.3	-	2.0	21.5
	60代	154	61.0	27.9	7.8	1.3	0.6	0.6	-	0.6	-	-	-	11.0
	70代以上	316	72.8	19.0	3.2	1.9	1.3	0.9	0.3	-	0.3	-	0.3	8.2

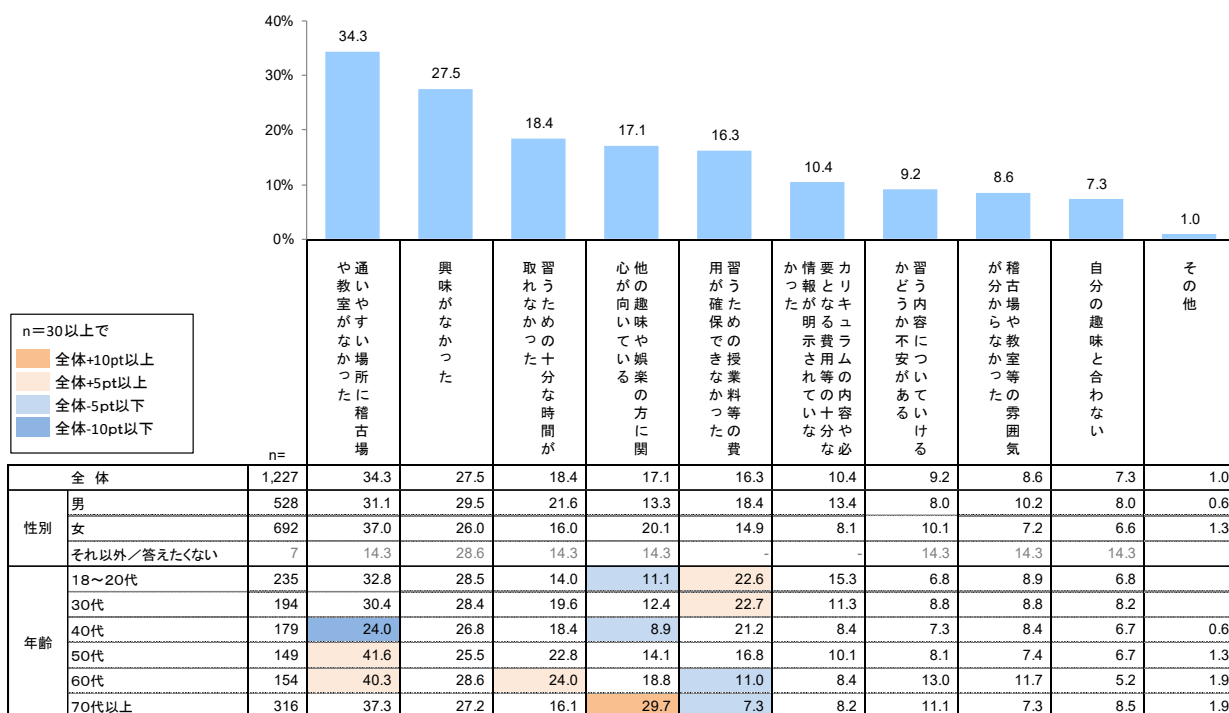
※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 BQ12：香道に支払える月額費用

香道を習っていない理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「通いやすい場所に稽古場や教室がなかった」の34.3%で、次いで「興味がなかった」27.5%、「習うための十分な時間が取れなかった」18.4%、「他の趣味や娯楽の方に興味が向いている」17.1%となった。

年齢別では、若年者で「習うための授業料等の費用が確保できなかった」の回答比率が高い一方、50～60代では「通いやすい場所に稽古場や教室がなかった」の回答比率が高く、年代によって習っていない理由に異なる傾向が見られる。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 BQ13：香道を習っていない理由

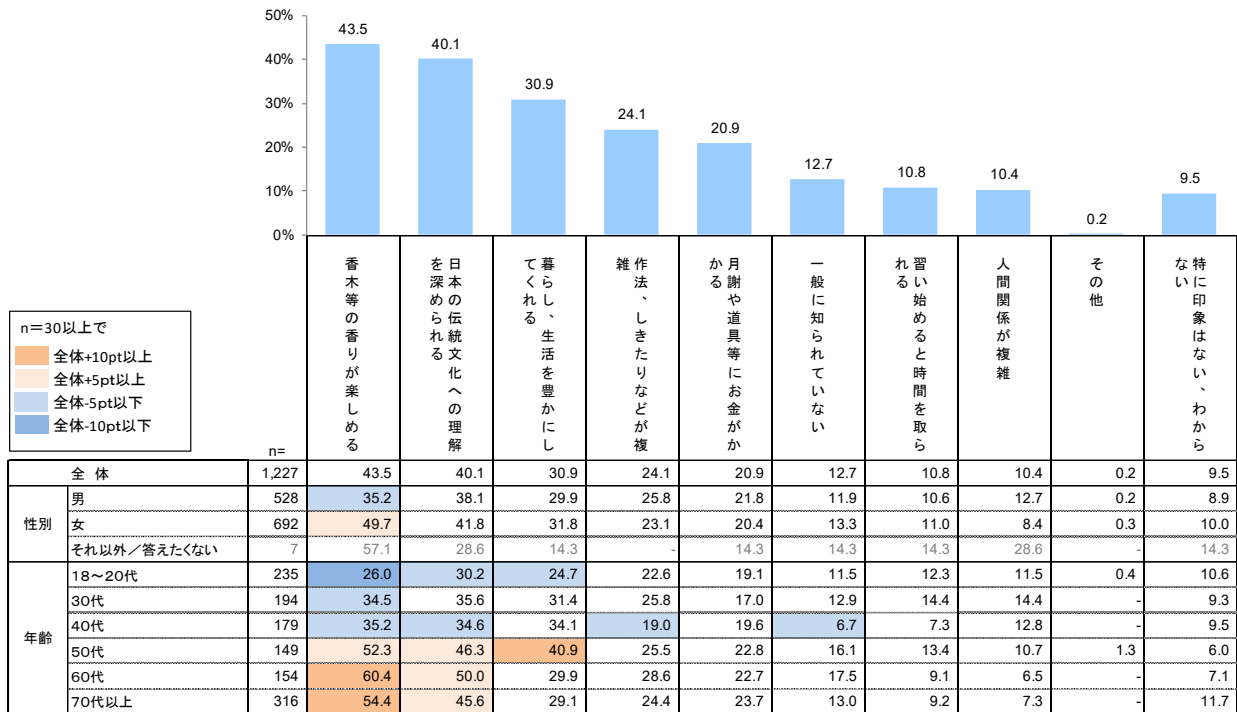
(その他の内容) 香料アレルギー、喘息だから、お金がかかる

香道に対する印象やイメージ

全体平均で最も回答比率が高いのは「香木等の香りが楽しめる」の43.5%で、次いで「日本の伝統文化への理解を深められる」40.1%、「暮らし、生活を豊かにしてくれる」30.9%、「作法、しきたりなどが複雑」24.1%、「月謝や道具等にお金がかかる」20.9%となっている。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、「香木等の香りが楽しめる」が男性で35.2%と低い一方、女性で49.7%と高い。

また、年齢別では、50代以上で「香木等の香りが楽しめる」、「日本の伝統文化への理解を深められる」の回答比率が全体平均よりも高い結果となっており、年代が高いほど肯定的なイメージを持っている傾向がある。



集計表 BQ14：香道に対する印象やイメージ

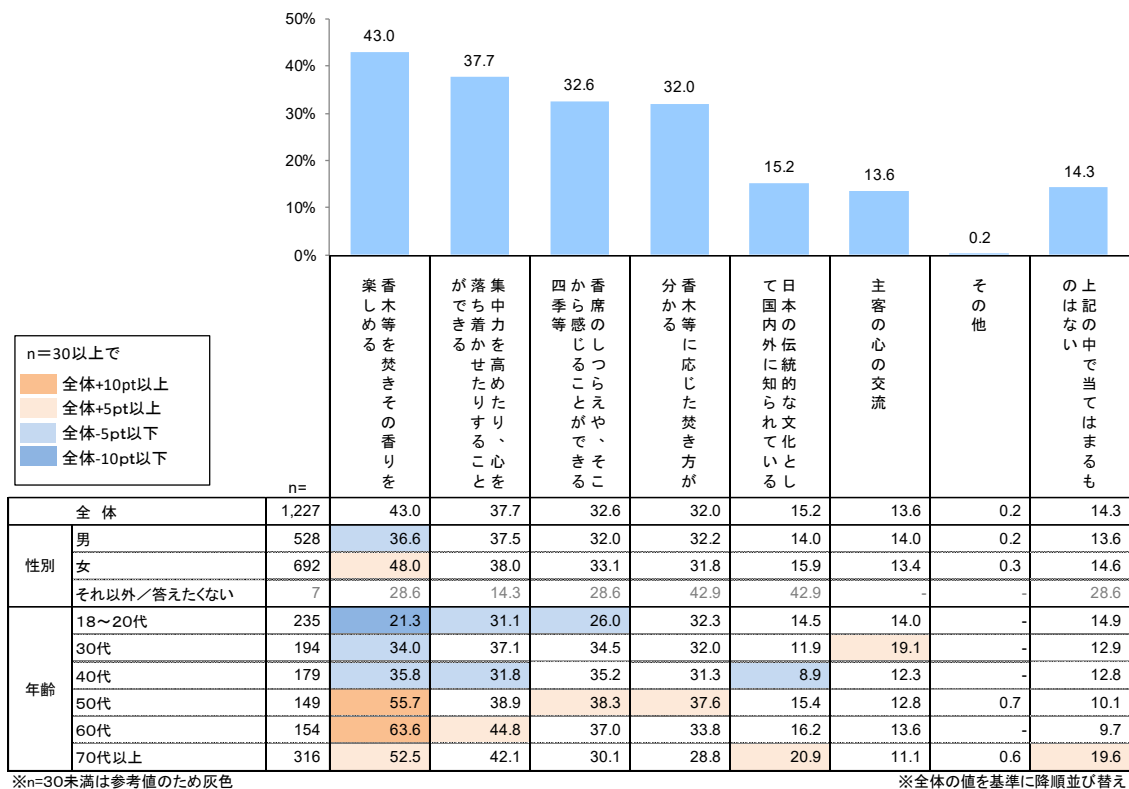
(その他の内容) 心が落ち着きそう、指導者がいない、教室がない

香道に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「香木等を焚きその香りを楽しめる」の43.0%で、次いで「集中力を高めたり、心を落ち着かせたりすることができる」37.7%、「香席のしつらえや、そこから感じることができる四季等」32.6%、「香木等に応じた焚き方が分かる」32.0%、「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」15.2%と続く。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、「香木等を焚きその香りを楽しめる」の回答比率が男性で36.6%、女性で48.0%となっており、回答比率に大きな差が見られる。

また、年齢別では、50代以上で「香木等を焚きその香りを楽しめる」の回答比率が全体平均よりも高い一方、10～40代は低い結果となっている。



集計表 B Q15 : 香道に関する興味関心や魅力

(その他の内容) 生活が豊かになる、フレグランスとは違う日本中国独特の香り

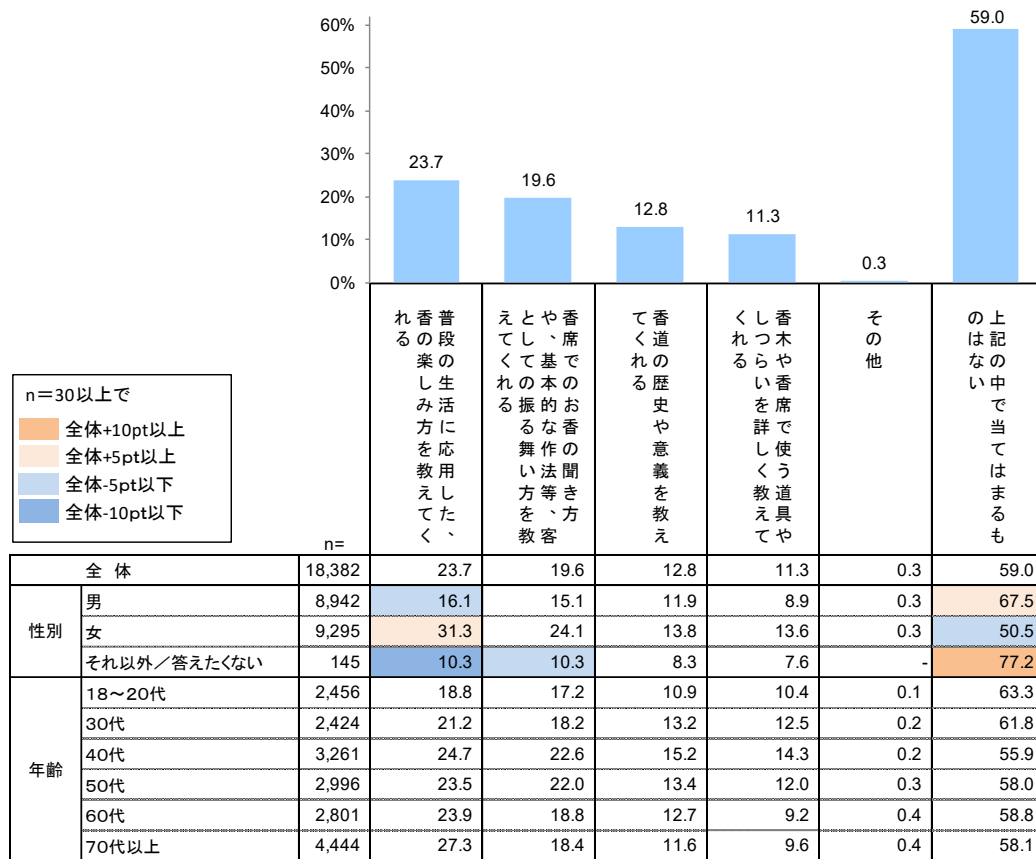
■ 香道を「今まで経験したことはない」と回答した者への設問（B Q16～B Q20）

本設問では、香道を経験したことがないと回答した者が、香道を体験するならば、どのような内容や機会なら参加したいか、また、香道に対してどの程度、興味関心を持っているのか等を把握するためのアンケートを実施した。

参加してみたい香道の体験内容

全体平均で最も回答比率が高いのは「上記の中で当てはまるものはない」の59.0%で、次いで「普段の生活に応用した、香の楽しみ方を教えてくれる」23.7%、「香席でのお香の聞き方や、基本的な作法等、客としての振る舞い方を教えてくれる」19.6%、「香道の歴史や意義を教えてくれる」12.8%、「香木や香席で使う道具やしつらいを詳しく教えてくれる」11.3%となった。

男女別では、「上記の中で当てはまるものはない」の回答比率が男性で67.5%と高く、女性で50.5%と低い一方、「普段の生活に応用した、香の楽しみ方を教えてくれる」の回答比率は、男性が16.1%と低く、女性が31.3%と高い。



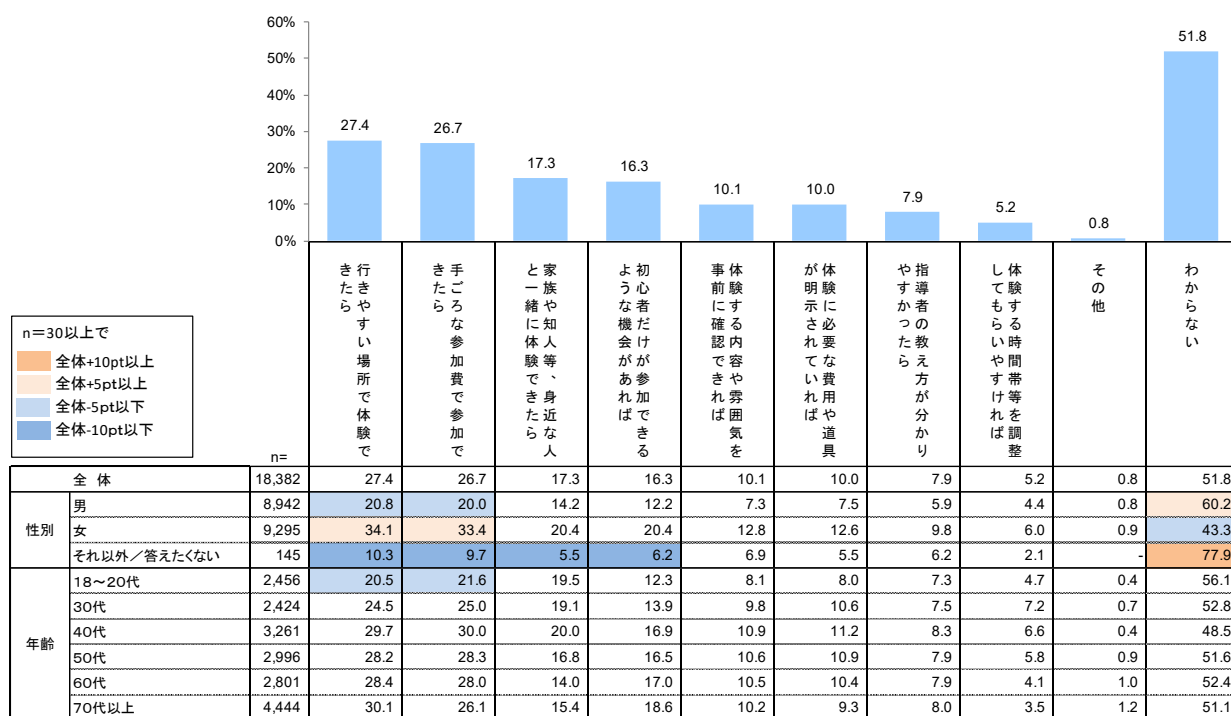
集計表 B Q16：参加してみたい香道の体験内容

(その他の内容) 正座をしなくていいなら、今の時代にあった香の楽しみ方で教えてくれる

参加しやすい香道の体験条件

全体平均で最も回答比率が高いのは「わからない」の51.8%で、次いで「行きやすい場所で体験できたら」27.4%、「手ごろな参加費で参加できたら」26.7%、「家族や知人等、身近な人と一緒に体験できたら」17.3%、「初心者だけが参加できるような機会があれば」16.3%となる。

男女別で見ると、「行きやすい場所で体験できたら」の回答比率が女性で34.1%と高く、男性で20.8%と低い。また「手ごろな参加費で参加できたら」での回答比率も、女性で33.4%、男性で20.0%と女性の方が高い。



集計表 BQ17：参加しやすい香道の体験条件

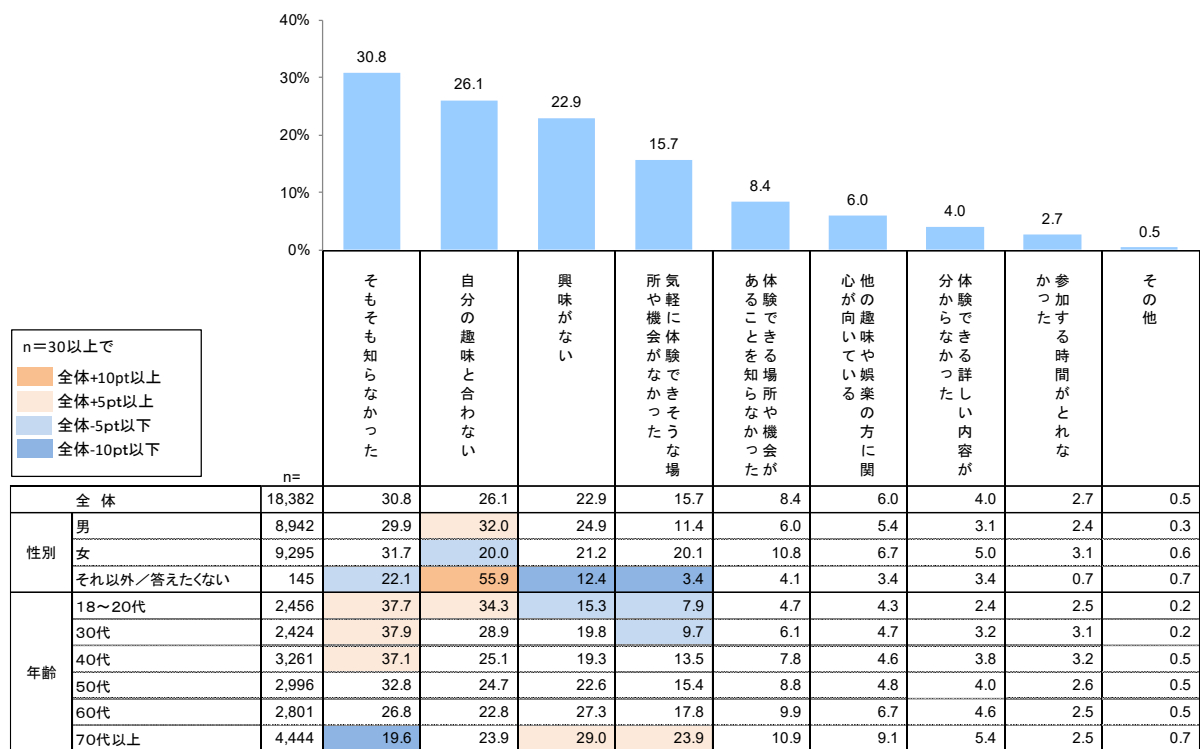
(その他の内容) 参加費が無料、格式ばらないで気軽に参加できたら、正座をしなくてよいなら

香道を体験したことがない理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「そもそも知らなかった」の30.8%で、次いで「自分の趣味と合わない」26.1%、「興味がない」22.9%、「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」15.7%となった。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較した場合、男女別では、「自分の趣味と合わない」の回答比率が男性で32.0%と高く、女性で20.0%と低い。

また、年齢別では、10～40代で「そもそも知らなかった」という回答比率が高い。



集計表 BQ18：香道を体験したことがない理由

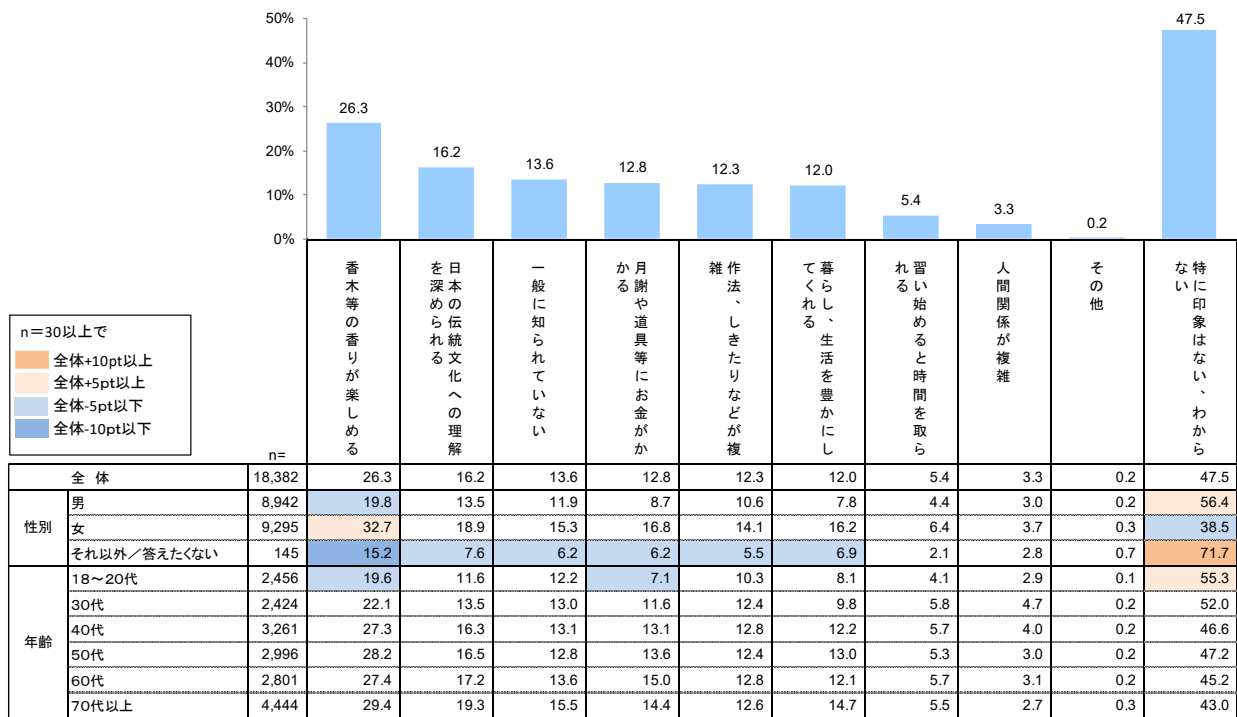
(その他の内容) 香りが苦手、香りアレルギー、正座ができない

香道に対する印象やイメージ

全体平均で最も回答比率が高いのは「特に印象はない、わからない」の47.5%で、次いで「香木等の香りが楽しめる」26.3%、「日本の伝統文化への理解を深められる」16.2%、「一般に知られていない」13.6%、「月謝や道具等にお金がかかる」12.8%、「作法、しきたりなどが複雑」12.3%となっている。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、「特に印象はない、わからない」の回答比率が男性で56.4%と高く、女性で38.5%と低い。一方で、「香木等の香りが楽しめる」の回答比率は男性が19.8%と低く、女性で32.7%と高い。

また、年齢別では、18～20代で「特に印象はない、わからない」(55.3%)の回答比率が高い一方、「香木等の香りが楽しめる」(19.6%)、「月謝や道具等にお金がかかる」(7.1%)の回答比率は低い。



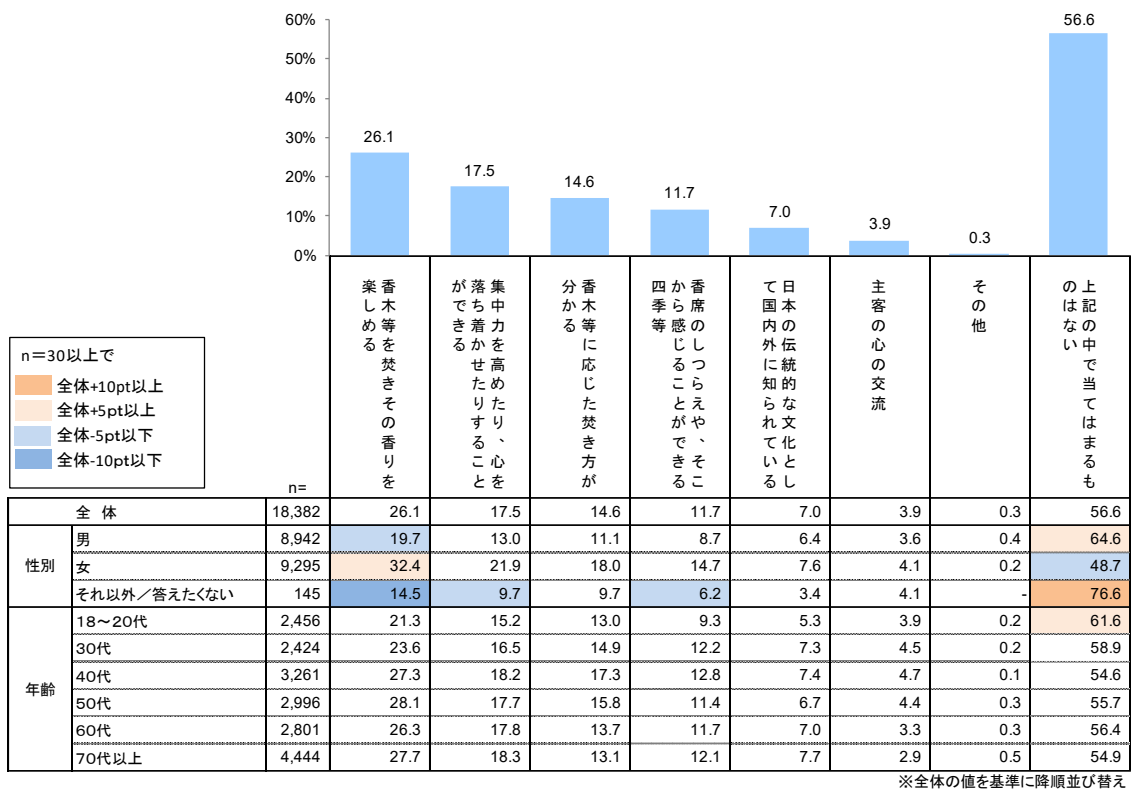
集計表 BQ19：香道に対する印象やイメージ

(その他の内容) 敷居が高い、香りを愛でる喜びゆしみ、お金持ちがするイメージ

香道に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「上記の中で当てはまるものはない」の56.6%で、次いで「香木等を焚きその香りを楽しめる」の26.1%、「集中力を高めたり、心を落ち着かせたりすることができる」17.5%、「香木等に応じた焚き方が分かる」14.6%、「香席のしつらえや、そこから感じることができる四季等」11.7%と続く。

男女別で見ると、男性では「香木等を焚きその香りを楽しめる」(19.7%)の回答比率が低く、「上記の中で当てはまるものはない」(64.6%)の回答比率が高いことから、男性よりも女性の方が香道に対して興味関心や魅力を感じている傾向がうかがえる。



集計表 BQ20：香道に関する興味関心や魅力

(その他の内容) 香の調合体験ができる、日常生活で使える

②調査結果に基づく分析と考察

本節では、香道の振興施策の検討を主眼として、前掲の集計結果に加えてクロス集計等も行い、これらの結果について分析を行う。

香道に関して「経験あり」、「参加体験あり」、「未経験」それぞれの回答者にどのような特徴が見られるのかを分析するため、「居住地」、「職業」、「同居家族」、「世帯年収」、「子供の頃の習い事」等の設問や設問間とのクロス集計を行った。結果は以下のとおりである。

回答者の特性や傾向について

■居住地、職業、同居家族、世帯年収とのクロス集計結果

属性については、性年齢以外に、居住地域、職業、同居家族、世帯年収についての設問をもうけている。職業では、家族従業者に「参加体験あり」と回答した者がやや多い。世帯年収については、「1,000万円以上」で「経験あり」の回答比率がやや高いが、それでも3.5%にとどまっており、居住地域、世帯年収とのクロス集計の結果からは、際立った傾向は見られない。

居住地・職業・同居家族×香道の経験の有無

		FQ フィルタリング・パート (%)			
			「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
n=30以上で					
全体+10pt以上					
全体+5pt以上					
全体-5pt以下					
全体-10pt以下					
n=					
全体		20,000	2.0	6.1	91.9
居住地	北海道	852	2.0	4.7	93.3
	東北	1,385	2.1	5.9	92.0
	関東	7,422	2.1	6.6	91.3
	北陸	816	2.1	4.8	93.1
	東海(中部)	2,349	2.0	6.0	92.0
	近畿	3,247	2.0	6.7	91.3
	中国	1,140	2.3	5.5	92.2
	四国	584	0.9	5.7	93.5
	九州	1,987	1.4	5.6	93.0
	沖縄	218	0.5	2.8	96.8
職業	正規の職員・従業員	6,411	2.9	7.5	89.6
	非正規の職員・従業員	2,803	1.6	6.1	92.3
	自営業主・自由業	1,239	1.5	6.0	92.5
	家族従業者	135	0.7	11.1	88.1
	主婦・主夫	3,987	2.2	6.5	91.3
	学生	512	2.1	8.0	89.8
	リタイア、無職	4,141	0.9	3.9	95.2
	その他	772	0.6	3.4	96.0
同居家族	ひとり暮らし	4,145	2.5	6.4	91.1
	核家族	13,277	1.8	6.1	92.2
	三世代家族	1,179	3.3	7.5	89.1
	上記以外で同居している人がいる	1,399	1.2	4.5	94.3

昨年度の世帯年収×香道の経験の有無

(%)

n=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

		n=	FQ フィルタリング・パート		
			「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
全 体		20,000	2.0	6.1	91.9
昨年度の世帯年収	100万円未満	991	2.7	5.2	92.0
	100万円以上～200万円未満	1,325	2.1	5.5	92.4
	200万円以上～300万円未満	2,030	1.8	6.3	92.0
	300万円以上～400万円未満	2,367	1.8	6.1	92.1
	400万円以上～500万円未満	1,937	2.0	6.2	91.8
	500万円以上～600万円未満	1,457	1.8	6.3	91.9
	600万円以上～700万円未満	1,096	2.5	7.9	89.6
	700万円以上～800万円未満	1,024	2.0	6.3	91.8
	800万円以上～900万円未満	702	3.3	9.8	86.9
	900万円以上～1,000万円未満	653	2.0	7.5	90.5
1,000万円以上	1,525	3.5	9.0	87.5	
分からない	4,893	1.2	4.3	94.5	

■子供の頃の習い事とのクロス集計結果

次に、香道の経験・体験の有無についての回答と、「子供の頃の習い事」に関する設問への回答とのクロス集計の結果を示す。

クロス集計を行った結果、「経験あり」と回答した者の全体平均（2.0％）と比較すると、「囲碁や将棋」（18.6％）がとりわけ回答比率が高く、「伝統芸能や茶道・華道等の芸事」（11.0％）、「バレエやダンス」（10.5％）、「美術」（8.5％）も高い回答比率を示している。同様の傾向は「参加体験あり」と回答した者にも見られる。

子供の頃の習い事×香道の経験の有無

(%)

n=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

		n=	FQ フィルタリング・パート		
			「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
全 体		20,000	2.0	6.1	91.9
楽器演奏（ピアノやバイオリンなど）や歌唱（コーラスや声楽など）		4,615	3.9	8.8	87.3
バレエやダンス（バレエ、モダンダンスやコンテンポラリーダンスなど）		755	10.5	19.3	70.2
美術（絵画や版画、彫刻、工芸など）		939	8.5	16.4	75.1
伝統芸能や茶道・華道等の芸事		743	11.0	17.0	72.0
囲碁や将棋		221	18.6	24.0	57.5
書道・習字・ペン字、そろばん		8,121	2.5	7.4	90.1
スポーツ・武道		3,661	2.5	9.6	87.8
その他		449	1.1	8.2	90.6
していない		7,852	0.5	2.7	96.8

■スポーツや趣味、娯楽等の活動とのクロス集計結果

次に、スポーツや趣味、娯楽等（以下、趣味・娯楽等）の活動の内容や、これらの活動に費やす時間やお金に関する回答結果とのクロス集計結果と、そこから見ることで特徴や傾向を示す。

香道について「経験あり」と回答した者が行っている趣味・娯楽等の活動を見ると、趣味・娯楽等の活動を「特に何もしていない」人が、「未経験」では18.5%いる一方、「経験あり」(3.1%)「参加体験あり」(5.1%)と、経験あり・参加体験ありの回答者共に、趣味・娯楽等と積極的な関わりを持っていることがうかがえる。

趣味・娯楽等の活動について項目別に見ると、全体平均を下回っている項目は、「動画鑑賞」、「(メディアでの)音楽鑑賞」、「読書」、「国内観光旅行」、「複合ショッピングセンター、アウトレットモール」に限られており、他の趣味・娯楽等の活動では全て参加率が全体平均を上回る。また、日本の伝統的な文化に関しては、「経験あり」と回答した者は、「お茶」(15.3%)、「お花」(11.8%)、「書道」(11.5%)、「邦楽、民謡」(5.4%)、「おどり(日舞など)」(3.8%)と全体平均を上回る参加率であり、「参加体験あり」と回答した者と比較しても回答比率が高い。一方、「参加体験あり」と回答した者では、「特に何もしていない」が5.1%と全体平均を下回っているのを除き、全ての種目で、平均以上か平均並の回答比率となっており、分野に関わらず趣味・娯楽等活動を幅広く行っていることが推察できる。

次に、1ヶ月に使える趣味・娯楽等にかかる費用や活動する時間帯、活動に費やす時間とのクロス集計結果を示す。

まず、趣味・娯楽等にかかる費用については、「経験あり」と回答した者で平均月2万円以上支出している割合が26.6%と、「参加体験あり」(18.9%)、「未経験」(10.5%)を上回っている。

趣味・娯楽等の活動を行う時間帯を見ると、「平日夕方」(24.0%)の回答比率が高い。対照的に休日の活動率は全体平均を下回っている。

趣味・娯楽等に費やす月平均の時間を見ると、「1時間未満」の回答比率が、全体平均22.9%に対し、「経験あり」(16.1%)、「参加体験あり」(16.8%)と下回っている一方、「2時間以上～3時間未満」の回答比率が全体平均13.7%に対し、「経験あり」(20.1%)で上回っている。

また、「経験あり」層の場合、「1時間未満」と「10時間以上」を除く全て項目で全体平均を上回っていることから、経験がある方が余暇時間に費やす時間が長く、活動そのものを積極的に行う傾向が見られる。

香道の経験の有無×趣味・娯楽等の活動状況

(%)

		共通設問1 趣味・余暇活動の参加状況										
		信 動 画 鑑 賞 (レ ン タ ル 、 配 信 を 含 む)	邦 楽 、 民 謡	音 楽 鑑 賞 (レ コ ー ド 、 テ レ ビ 、 C D 、 F M 、 等)	書 道	お 茶	お 花	お ど り (日 舞 な ど)	読 書 (仕 事 、 勉 強 な ど を 除 く 娯 楽 と し て の の)	寒 国 内 観 光 旅 行 (避 暑 、 避 寒 、 温 泉 な ど)	ル タ ー 、 ア ウ ト レ ッ ト レ ン グ セ ン ト ー	特 に 何 も し て い な い
全体	20,000	13.6	1.5	17.3	1.7	1.6	1.8	0.4	16.1	30.7	15.7	17.4
「経験あり」層	391	13.0	5.4	12.5	11.5	15.3	11.8	3.8	12.0	27.9	13.8	3.1
「参加体験あり」層	1,227	15.2	3.7	17.4	5.6	7.5	5.7	1.1	17.5	36.3	21.5	5.1
「未経験」層	18,382	13.5	1.3	17.3	1.2	0.9	1.3	0.2	16.1	30.4	15.4	18.5

※共通設問1は、分析で取り上げた選択肢のみ抜粋して掲載している。(以下同様)

香道の経験の有無×趣味・娯楽等に1ヶ月に使える費用

(%)

		共通設問2 1ヶ月に使える趣味・余暇費用											
		5 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 円 未 満	1 1 5 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 円 未 満	2 2 5 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 円 未 満	3 3 5 0 0 0 円 未 満	4 3 0 0 0 0 円 未 満	4 4 5 0 0 0 円 未 満	5 4 0 0 0 0 円 未 満	5 0 0 0 0 円 以 上	合 計 2 0 0 0 0 円 以 上
全体	16,527	49.5	22.9	10.2	5.9	3.1	3.0	1.4	0.6	0.4	0.6	2.3	11.4
「経験あり」層	379	26.1	18.2	17.4	11.6	6.6	6.9	2.9	2.6	1.1	1.1	5.5	26.6
「参加体験あり」層	1,164	30.4	26.1	14.2	10.4	5.8	4.2	3.6	0.9	0.7	0.7	3.0	18.9
「未経験」層	14,984	51.6	22.8	9.7	5.5	2.8	2.8	1.1	0.6	0.4	0.6	2.2	10.5

香道の経験の有無×趣味・娯楽等を行う時間帯

(%)

		共通設問3 1ヶ月に使える趣味・余暇時間帯							
		平 日 午 前	平 日 午 後	平 日 夕 方	平 日 夜 間	休 日 午 前	休 日 午 後	休 日 夕 方	休 日 夜 間
全体	16,527	30.6	30.1	15.8	18.8	34.9	43.7	21.2	15.5
「経験あり」層	379	34.3	31.1	24.0	19.0	29.0	30.6	15.8	7.7
「参加体験あり」層	1,164	29.3	28.6	20.3	16.5	34.6	35.3	21.0	11.7
「未経験」層	14,984	30.6	30.2	15.3	19.0	35.1	44.7	21.4	16.0

香道の経験の有無×趣味・娯楽等に費やす時間

		共通設問4 趣味・余暇活動を行う時間 (%)										
n=30以上で		1時間未満	2時間未満	3時間未満	4時間未満	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	10時間以上
n=												
全体	16,527	22.9	23.5	13.7	7.0	4.5	4.1	1.7	1.9	0.9	1.3	18.5
「経験あり」層	379	16.1	22.7	20.1	9.8	6.9	4.7	3.2	3.4	2.1	1.3	9.8
「参加体験あり」層	1,164	16.8	25.4	18.2	9.3	5.1	5.3	3.0	1.9	0.7	1.5	12.9
「未経験」層	14,984	23.6	23.3	13.1	6.7	4.4	4.0	1.6	1.8	0.9	1.3	19.1

消費行動に関する意識や価値観に関するクロス集計結果

消費行動についての様々な意見への同意率を見てみると、「経験あり」と回答した者は、「リスクはできるだけ避けたい」、「家族や友人・知人の役に立ちたい」、「流行っていないくても、自分が面白いと思ったものは試してみたい」、「困っている人・助けが必要な人の役に立ちたい」、「その時・その場でしか得られない体験をしたい」、「上記であてはまるものはない」を除いた意見で回答比率が平均を上回っている。また、「自分の考えを主張するより、周りとの和を尊重したい」(38.4%)は、全体平均を大幅に上回る回答比率となっていると共に「参加体験あり」と回答した者の回答比率も大きく上回っている。

一方、「参加体験あり」と回答した者は、「リスクはできるだけ避けたい」と「上記であてはまるものはない」を除いた全ての意見で回答比率が平均を上回ると共に、「周りに合わせるより、自分の考えに基づいてものごとを判断したい」(32.4%)や「家族や友人・知人の役に立ちたい」(31.0%)、「困っている人・助けが必要な人の役に立ちたい」(27.9%)、「その時・その場でしか得られない体験をしたい」(21.6%)で全体平均を上回る回答比率となっている。

「未経験」と回答した者は、「上記であてはまるものはない」(23.4%)以外の全項目で回答比率が最も低い。

香道の経験の有無×消費行動に対する価値観

		共通設問5 消費行動に対する価値観 (%)																
n=30以上で		た自、分り、周りを判えたい	ご分り、周りを判えたい	周りに合わせるよ	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい	た、周りを判えたい
n=																		
全体	20,000	25.6	22.6	20.2	41.9	24.9	10.6	19.6	2.4	5.4	13.6	3.9	26.8	3.1	3.1	22.0		
「経験あり」層	391	38.4	25.6	30.4	27.1	22.3	17.4	18.2	5.4	11.0	12.3	6.9	16.4	8.2	3.8	4.9		
「参加体験あり」層	1,227	29.4	32.4	29.1	38.5	31.0	17.8	27.9	4.6	11.0	21.6	7.9	28.8	6.8	5.5	6.2		
「未経験」層	18,382	25.1	21.9	19.4	42.5	24.5	10.0	19.1	2.2	4.9	13.1	3.6	26.9	2.8	2.9	23.4		

普段接するメディアとのクロス集計結果

回答者が普段接するメディアと香道の経験・体験の有無とのクロス集計結果を示す。

「経験あり」と回答した者の場合、「CATVや衛星放送のチャンネル」、「ラジオ」、「雑誌・タウン誌」

で回答比率が全体平均を5%以上上回っている一方、「テレビ(民放)」と「インターネットのウェブサイト・ニュースサイトなど」、「動画投稿サイト」、「SNS」への接触は全体平均を下回っており、CATVや衛星放送、雑誌などに普段から接触している傾向が見られる。一方、「参加体験あり」と回答した者は、「テレビ(民放)」、「インターネットのウェブサイト・ニュースサイトなど」で全体平均を下回っており、「動画投稿サイト」で全体平均並みとなっていることを除くと平均よりメディア接触が多い。

なお、「未経験」と回答した者の場合は、逆に、多くのメディアにおいて回答比率が低く、「テレビ(民放)」(70.1%)、「インターネットのウェブサイト・ニュースサイトなど」(46.5%)、「動画投稿サイト」(33.9%)、「上記のメディアはあまり見ていない」(11.4%)のみで全体平均の回答比率を上回る結果になった。

香道の経験の有無×接触メディア

		共通設問6 接触メディア (%)															
		Bテレビ(S)	波テレビ(B・BS)	CATVや衛星放送のチャンネル	ラジオ(インターネットを除く)	新聞(電子版含む)	雑誌・タウン誌(インターネット経由を除く)	むな(インターネットのウェブサイト・ニュースサイトなど(アプリ経由を含む))	動画投稿サイト(Toutube)	o ar S (Twitter、Facebook、Instagramなど)	紙の書籍	電子書籍	紙のマンガ/マンガ雑誌	電子版のマンガ	x、H u i l u (Amazon、Netflixなど)	有料動画サイト(Amazon Prime Video)	上記のメディアはあまり見ていない
全体	n=20,000	69.5	41.7	10.2	14.3	28.5	7.5	46.1	33.7	28.5	20.4	6.0	6.8	6.4	11.9	10.8	
「経験あり」層	391	60.1	45.5	20.7	22.3	33.2	16.9	32.5	22.5	22.5	23.5	10.0	8.7	7.4	13.0	3.1	
「参加体験あり」層	1,227	63.8	48.2	17.3	19.9	36.2	16.0	44.7	33.7	30.0	25.8	10.0	9.5	7.7	13.7	3.9	
「未経験」層	18,382	70.1	41.2	9.5	13.7	27.8	6.8	46.5	33.9	28.5	19.9	5.6	6.6	6.3	11.7	11.4	

以上のクロス集計結果と、「①単純集計の結果について」で示した回答者の年齢・性別とのクロス集計の結果も踏まえ、香道の「経験あり」「参加体験あり」「未経験」、それぞれの回答者の特徴や傾向は以下のとおりになる。

1) 香道を経験したと回答した者の傾向

男女別で見た場合、女性の方が男性よりも経験者の総数がやや多く、年齢別で見た場合、18~20代が最も多く、次いで30代、70代以上と続いている。

次に経験者は、子供の頃の習い事として伝統的な文化に係る分野を習っていたと回答している者が多く、また、趣味・娯楽等の活動に積極性があり尚かつ伝統的な文化に係る趣味への嗜好性の高さがうかがえる。消費行動への意識については、チャンスと感じたら逃したくないという意識が強くあり、周りとの協調や一体感を大事にする価値観を持っている者が全体平均と比べると多い傾向が見える。普段のメディア接触についてはCATVやラジオ、雑誌のメディア媒体への接触率が高い傾向にあるといえる。

2) 香道を参加体験したと回答した者の傾向

男女別で見た場合、女性の方が男性よりも参加体験者の総数が多いのが特徴の一つといえる。また、年齢別で見た場合、70代以上が最も多く、次いで18~20代、30代と続く。

次に、子供の頃の習い事の経験があるとの回答比率が高い傾向にあり、趣味・娯楽等の活動

に対して積極的な傾向にあるが、伝統的な文化への関わりは香道の経験者と比べると薄い傾向がうかがえる。

消費行動への意識については、チャンスと感じたら逃したくないという嗜好性は香道の経験者と同じ傾向にある一方で、自分の考えに基づき物事を判断したいと考え、家族や知人、困っている人の役に立ちたいという傾向が参加体験者にはうかがえる。また、普段のメディア接触については、NHKの地上波放送やBS放送、新聞や雑誌、紙の書籍等、普段から幅広くメディアに接触している傾向にある。

3) 香道を未経験と回答した者の傾向

男女別、年齢別等では顕著な特徴は見られなかった。

子供の頃の習い事の経験については、全体平均の回答比率よりも低い傾向にあり、経験者や参加体験者と比べると低調といえる。また、趣味・娯楽等の活動に対して、特に何もしていないという回答比率が全体平均をやや上回っており、趣味・娯楽等の活動に対して積極的な傾向があるとは言い難い。

消費行動への意識については、当てはまるものはないという回答比率が全体平均をやや上回っているが、特徴的な傾向は見られない。また、メディア接触については、いずれのメディアとも接触率があまり高い傾向にあるとはいえない。

未経験者の傾向と特徴

次に、上記の属性分析を踏まえ、「経験あり」「参加体験あり」「未経験」、それぞれの回答者ごとに設けた設問の回答結果についてクロス集計を行い、回答者の特徴について更なる分析を行う。

はじめに、「未経験」と回答している者について分析を行う。上述の回答者属性に関する分析結果からは、「未経験」と回答した者については際立った特徴や傾向は見いだせなかった。加えて、今後の振興施策を考える上で、「未経験」と回答した者が、香道をなぜ経験してこなかったのか、また、香道を経験することに対してどのような意識を持っているのか、どのような体験方法や周知の実施をすれば参加体験等に繋げていく可能性を見いだすことができるのか、その検討のために分析を行う必要がある。

■未経験層の体験機会への参加意向

未経験と回答した者のうち、香道を体験してみたいという意向を持つ回答者、体験意向がない回答者にはどのような特徴があるのか。趣味・娯楽等の活動内容、消費意識、メディア接触の設問とBQ16「参加してみたい香道の体験内容」とのクロス集計を行い、回答者の特徴について分析を行う。BQ16では、体験内容として設定した選択肢には当てはまるものはないと59.0%が回答しており、残りの41.0%は、体験内容によっては香道の体験に参加してみたいという意向を持っていると推察される。

まず、香道の体験に参加してみたいとの意向を示した回答者について、クロス集計結果からその特徴を確認する。趣味・娯楽等の活動とのクロス集計結果からは、「上記の中で当てはまるものはない」を除き、ほとんどの項目で全体平均と同じ程度の回答比率を示していることから、これらの活動に対して決して消極的ではないと推察される。

消費行動に対する価値観とのクロス集計結果を見ると、ほとんどの項目で、全体平均を上回る回答比率を示しており、明確な意見や嗜好性があることがうかがえる。この傾向は「参加体験あり」と回答した者の消費行動に対する価値観と近似している部分があり、家族や知人、困っている人の役に立ちたい、面白いものと思ったものは試してみたい、といった項目が合致している。

普段からのメディア接触とのクロス集計結果を見ると、消費行動に対する価値観と同じく、「参加体験あり」と回答した者と近似した傾向、つまり、普段から幅広くメディアに接触している傾向が見て取れる。

次に、香道の参加体験の意向がない者について、その特徴を確認する。BQ16で「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者は、趣味・娯楽等の活動について「特に何もしていない」(27.4%)と回答しており、消費行動に関する設問でも、メディア接触についても、当てはまらない、特にしていないという選択肢を選ぶ割合が高い。このように、香道の参加体験の意向がない者の特徴として、趣味・娯楽活動やメディアへの接触到に必ずしも積極的とはいえず、消費についての意識・意見をあまり明確に持っていない傾向が確認できる。

参加してみたい香道の体験内容×趣味・娯楽等の活動状況

(%)

	n=	共通設問1 趣味・余暇活動の参加状況										
		信 画 鑑 賞 (レ ン タ ル、 配 信 を 含 む)	邦 楽 、 民 謡	音 楽 鑑 賞 (配 信、 C D、 レ コ ー ド、 テ ー プ、 F M な ど)	書 道	お 茶	お 花	お ど り (日 舞 な ど)	除 読 書 (仕 事、 勉 強 な ど を し て の の)	寒 国 内 観 光 行 旅 行 (避 暑、 避 冬 な ど)	ル タ ー、 ア ウ ト レ ッ ト セ ン ト	複 合 シ ョ ウ ト ビ ン グ セ ン ト
全 体	18,382	13.5	1.3	17.3	1.2	0.9	1.3	0.2	16.1	30.4	15.4	18.5
香席でのお香の聞き方や、基本的な作法等、客としての振る舞い方を教えてくれる	3,604	20.0	2.3	26.2	2.1	2.0	2.6	0.5	26.6	42.2	26.7	5.2
香道の歴史や意義を教えてくれる	2,359	21.2	2.6	25.5	2.2	1.9	2.6	0.4	29.5	42.9	24.9	4.1
香木や香席で使う道具やしつらいを詳しく教えてくれる	2,072	21.5	3.0	29.2	2.6	2.8	3.1	0.5	29.6	42.9	27.3	4.4
普段の生活に応用した、香の楽しみ方を教えてくれる	4,364	19.5	2.0	25.8	2.1	1.8	2.8	0.5	26.1	43.4	26.3	5.0
その他	50	22.0	2.0	26.0	4.0	2.0	2.0	-	34.0	38.0	12.0	2.0
上記の中で当てはまるものはない	10,842	10.4	0.8	13.5	0.8	0.4	0.6	0.1	11.1	23.7	9.8	27.4

n=30以上で

- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

参加してみたい香道の体験内容×消費行動に対する価値観

(%)

	n=	共通設問5 消費行動に対する価値観														
		自 分 の 考 え を 主 張 す る よ う に 周 り の 考 え に 基 づ い て も の 自 分 の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に	周 り の 考 え を 主 張 す る よ う に
全 体	18,382	25.1	21.9	19.4	42.5	24.5	10.0	19.1	2.2	4.9	13.1	3.6	26.9	2.8	2.9	23.4
香席でのお香の聞き方や、基本的な作法等、客としての振る舞い方を教えてくれる	3,604	36.3	31.8	32.2	56.4	39.7	18.6	33.4	3.3	8.7	25.7	6.5	44.9	5.0	4.5	4.5
香道の歴史や意義を教えてくれる	2,359	34.7	35.1	35.4	54.5	39.2	22.8	35.2	4.1	9.2	27.2	7.5	43.6	5.8	5.3	4.5
香木や香席で使う道具やしつらいを詳しく教えてくれる	2,072	33.5	36.0	37.4	58.1	41.8	22.4	36.6	4.8	10.6	30.0	7.5	49.7	6.5	6.0	3.7
普段の生活に応用した、香の楽しみ方を教えてくれる	4,364	33.9	30.7	29.0	57.4	39.4	18.5	33.1	3.1	9.0	25.8	6.0	46.8	5.0	5.1	4.2
その他	50	28.0	44.0	28.0	74.0	30.0	24.0	20.0	4.0	12.0	18.0	6.0	46.0	4.0	6.0	4.0
上記の中で当てはまるものはない	10,842	19.1	17.1	13.4	35.3	17.2	5.8	12.1	1.6	3.0	7.1	2.3	18.3	1.7	2.0	36.0

n=30以上で

- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

参加してみたい香道の体験内容×接触メディア

(%)

	n=	共通設問6 接触メディア																
		B T S (民 放 の 地 上 波)	波 レ ビ テ レ ビ S (N H K の 地 上 波)	チ ャ ン ネ ル や 衛 星 放 送 の チ ャ ン ネ ル	C A T V や 有 線 放 送 の チ ャ ン ネ ル	ラ ジ オ (イ ン タ ー ネ ッ ト を 除 く)	新 聞 (電 子 版 を 含 む)	タ ブ レ ッ ト や 電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く	電 子 書 籍 を 除 く
全 体	18,382	70.1	41.2	9.5	13.7	27.8	6.8	46.5	33.9	28.5	19.9	5.6	6.6	6.3	11.7	11.4		
香席でのお香の聞き方や、基本的な作法等、客としての振る舞い方を教えてくれる	3,604	81.1	52.7	12.2	18.0	35.8	11.8	60.2	44.6	40.8	32.0	9.5	10.8	10.8	17.1	1.4		
香道の歴史や意義を教えてくれる	2,359	78.1	54.5	13.3	19.4	37.1	13.2	60.9	44.7	39.9	35.1	11.6	11.3	10.3	17.6	1.1		
香木や香席で使う道具やしつらいを詳しく教えてくれる	2,072	77.5	53.2	13.4	19.8	34.2	15.2	62.3	47.6	42.6	35.2	12.5	13.2	12.1	19.0	1.4		
普段の生活に応用した、香の楽しみ方を教えてくれる	4,364	79.6	52.5	11.9	19.2	36.0	12.0	59.7	43.9	39.2	31.8	8.5	9.6	10.0	16.4	1.3		
その他	50	72.0	58.0	20.0	14.0	38.0	6.0	62.0	42.0	34.0	38.0	12.0	12.0	10.0	12.0	-		
上記の中で当てはまるものはない	10,842	64.4	35.2	8.1	11.4	24.0	4.4	39.9	29.0	22.8	14.2	4.0	5.1	4.6	9.4	18.2		

n=30以上で

- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

■参加したい体験機会別に見た参加条件

BQ16「参加してみたい香道の体験内容」の各種の参加体験とBQ17の「参加しやすい香道の体験条件」の関係を見ると、BQ16「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者では「わからない」が83.5%とほとんどを占める一方、実際に希望する体験機会がある者では、「わからない」という回答は極めて少ない。

希望する体験機会がある者での各参加条件への回答比率は、全体的に平均より非常に高くなっている。特に「行きやすい場所で体験できたら」、「手ごろな参加費で参加できたら」の2つについては、どの体験を希望した者でも、回答比率が60%台から70%台となっており、最重要の条件となっていることが分かる。また、「香木や香席で使う道具やしつらいを詳しく教えてくれる」体験機会を希望する者では、「わからない」を除く各条件における回答比率が、他の参加体験を希望する者に比べて高くなっており、実際に香道を行う際に必要な具体的知識・技を求める者であるほど、細かな参加条件まで気にする傾向があることが分かる。

参加してみたい香道の体験内容×参加しやすい香道の体験条件

	n=	BQ17 参加しやすい香道体験の条件 (%)									
		と家族や知人等に体験できたら	行きやすい場所での体験できたら	手ごろな参加費で参加できたら	体験に必要な費用や道具が明かされれば	体験する時間帯を調整できる	初心者だけが参加できる	事前確認できれば	指導者の教え方が分かり	その他	わからない
全体	18,382	17.3	27.4	26.7	10.0	5.2	16.3	10.1	7.9	0.8	51.8
香席でのお香の聞き方や、基本的な作法等、客としての振る舞い方を教えてくれる	3,604	45.1	67.0	65.8	30.2	15.3	38.8	26.5	21.0	0.7	4.1
香道の歴史や意義を教えてくれる	2,359	39.4	68.0	64.6	33.1	19.7	38.6	27.9	23.4	0.7	4.2
香木や香席で使う道具やしつらいを詳しく教えてくれる	2,072	38.9	72.4	70.9	42.3	24.6	45.9	34.3	28.3	0.8	3.0
普段の生活に応用した、香の楽しみ方を教えてくれる	4,364	36.5	61.4	61.3	25.8	14.4	41.9	28.3	21.9	0.7	5.8
その他	50	14.0	26.0	28.0	18.0	16.0	24.0	16.0	8.0	54.0	22.0
上記の中で当てはまるものはない	10,842	4.7	6.8	6.5	1.8	0.9	4.1	2.5	2.2	0.8	83.5

■これまで香道を経験してこなかった理由と参加したい体験機会

BQ18「香道を体験したことがない理由」を見ると、30.8%が香道をこれまで体験してこなかった理由として「そもそも知らなかった」と回答しており、回答比率が最も高い。また、「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」という回答比率も15.7%ある。一方、「興味がない」は22.9%、「自分の趣味と合わない」は26.1%である。

これを、BQ16の香道の体験機会への参加意向との関係で見ると、BQ16で「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者では、「興味がない」(29.3%)と「自分の趣味と合わない」(40.2%)が、「そもそも知らなかった」(26.6%)を上回っている。逆に、何らかの体験を希望した者では、「そもそも知らなかった」が全体平均より高く、一方で「興味がない」が10%台、「自分の趣味と合わない」が一桁台と対照的な結果になっている。

参加してみたい香道の体験内容×香道を体験したことがない理由

		BQ18 香道を体験したことがない理由 (%)									
		そもそも知らなかった	興味がない	所や機会がなかった	気軽な体験できなかった	か参加する時間がとれない	体験できる場所や機会があつた	体験できる詳しい内容が	他の趣味や娯楽の方に	自分の趣味と合わない	その他
n=30以上で											
全体+10pt以上											
全体+5pt以上											
全体-5pt以下											
全体-10pt以下											
n=											
全体	18,382	30.8	22.9	15.7	2.7	8.4	4.0	6.0	26.1	0.5	
香席でのお香の聞き方や、基本的な作法等、客としての振る舞い方を教えてくれる	3,604	37.7	12.2	39.4	6.2	21.8	9.5	9.5	4.1	0.4	
香道の歴史や意義を教えてくれる	2,359	34.0	12.1	40.7	8.9	23.8	11.4	10.8	4.7	0.3	
香木や香席で使う道具やしつらいを詳しく教えてくれる	2,072	32.4	10.3	42.9	9.9	27.6	14.1	11.3	4.3	0.6	
普段の生活に応用した、香の楽しみ方を教えてくれる	4,364	36.1	12.6	34.6	5.3	20.8	10.2	11.6	6.0	0.5	
その他	50	16.0	30.0	30.0	4.0	14.0	4.0	10.0	22.0	14.0	
上記の中で当てはまるものはない	10,842	26.6	29.3	3.9	0.7	1.7	1.2	3.6	40.2	0.5	

■ 「未経験」層と「参加体験あり」層の香道へのイメージの違い

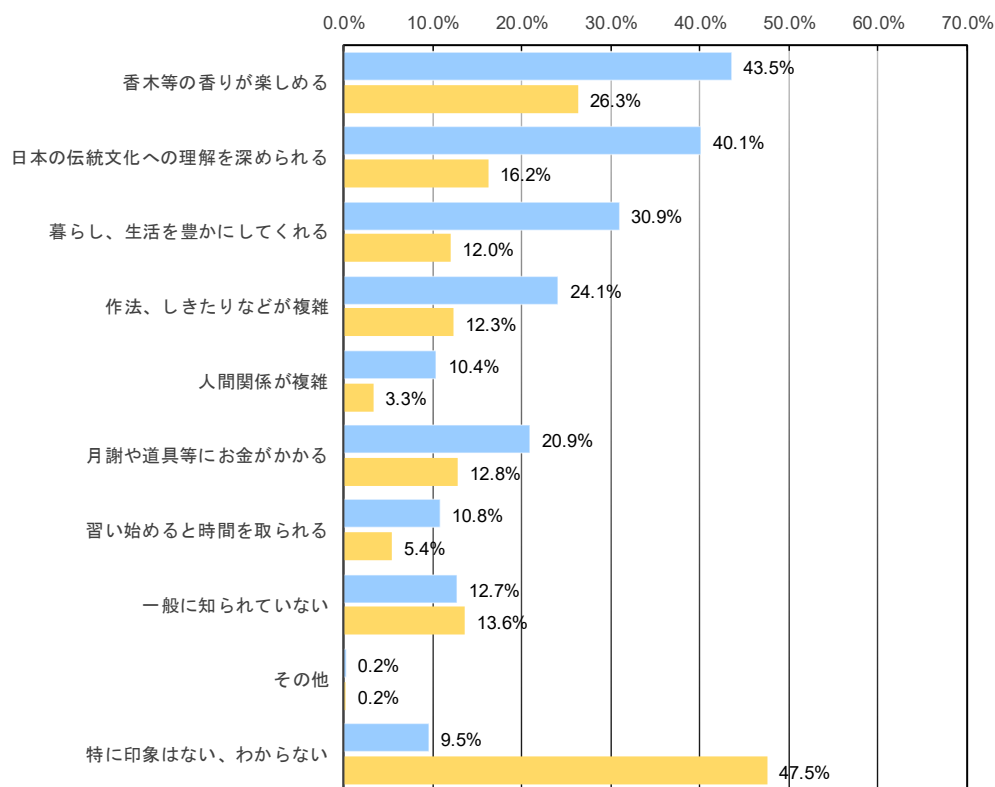
香道を未経験と回答した者が持つ香道へのイメージについて、BQ19の結果では、「特に印象はない、わからない」(47.5%)、「香木等の香りが楽しめる」(26.3%)、「日本の伝統文化への理解を深められる」(16.2%)、「一般に知られていない」(13.6%)、「月謝や道具等にお金がかかる」(12.8%)、「作法、しきたりなどが複雑」(12.3%)となっており、そもそも具体的なイメージを持っていない者が多い。この要因は、回答者が香道の未経験者であることから、具体的な内容や体験を経た上での印象を持っていないためと考えられる。また、香りを楽しめる、日本の伝統文化への理解を深めることができるとの、プラスイメージが先行している傾向が見られ、香りを楽しむ伝統的な文化であることを一定数が認識しているものと推察される。

下のグラフは、香道の参加体験をしたことがある者のイメージ(BQ14)と未経験者のイメージ(BQ19)の回答結果を比較したものである。

未経験者で最も回答比率が高かった「特に印象はない、わからない」の回答比率は、参加体験を行うことで大幅に減っている。また、参加体験をした者の方が「香木等の香りが楽しめる」、「日本の伝統文化への理解を深められる」の回答比率が高くなっているが、マイナスイメージの選択肢についても回答比率が高くなっていることが確認できる。

香道の参加体験をすることで、香道が持つ魅力はもちろんのこと、作法等の複雑さや時間や費用が掛かることも明確なイメージを描けるようになってきていることが分かる。

未経験者と参加体験者の香道に対する印象やイメージの違い



■ 学校の授業や職場の研修、イベント等で香会や香席に参加した経験はある (N=1, 227)

■ 今まで経験したことはない (N=18,382)

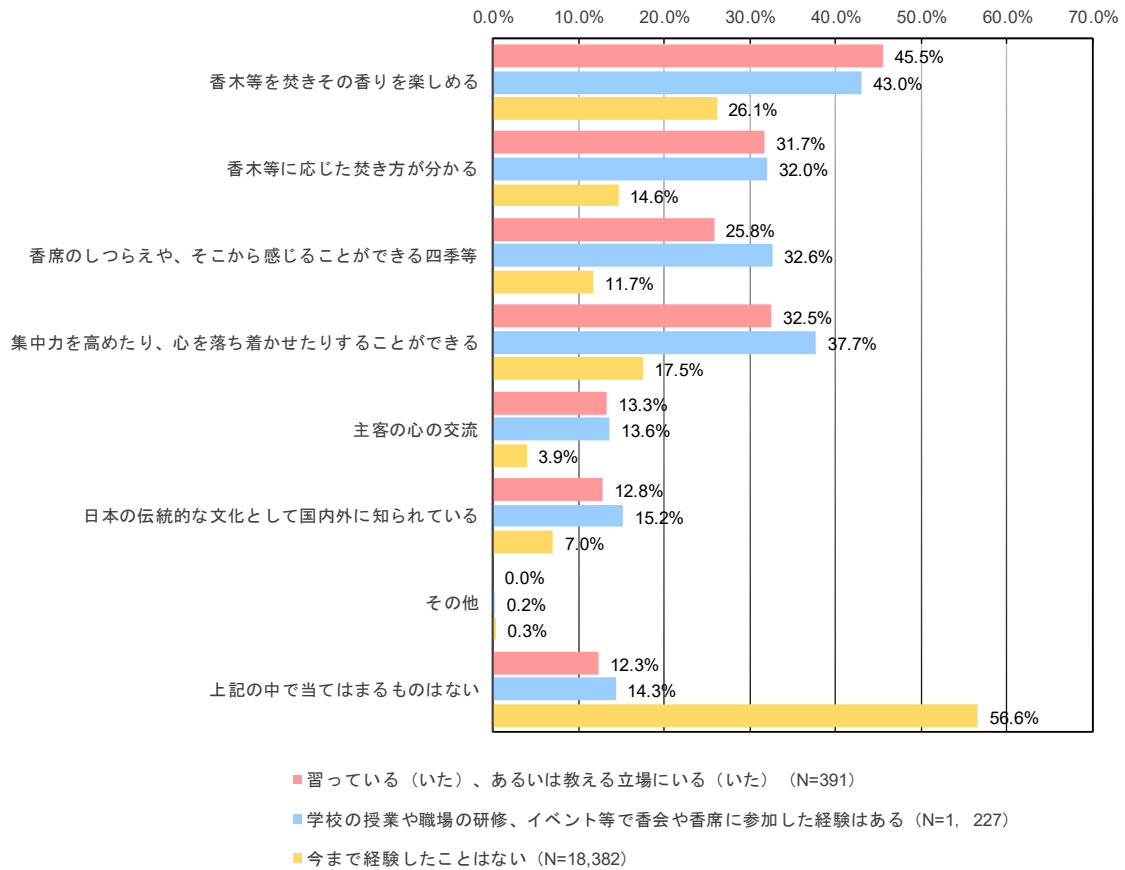
■ 「未経験」層と「参加体験あり」層、「経験あり」層の香道の魅力についての評価の違い

未経験者が香道に対する印象やイメージを具体的に描けないように、香道の魅力に対する設問 (B Q 8、B Q 15、B Q 20) にも同様の傾向が見られる。

下のグラフを見ても分かるように、香道未経験者の回答者の半数が、「上記の中で当てはまるものはない」(56.6%)と回答し、経験者と参加体験者の場合の回答比率と比較しても大きな差がある。

このことは他の魅力についてもいえ、参加体験者と未経験者を比較すると「香木等に応じた焚き方が分かる」、「香席のしつらえや、そこから感じることができる四季等」の回答比率に大きな差が見られることから、イメージや印象と同じく実際に体験をすることの重要性がうかがえる。

各回答者における香道に対する興味関心や魅力の違い



上記のクロス集計の結果から、香道を未体験と回答した者の特徴や傾向をまとめると、以下のとおりである。

1) 香道に興味関心がある者の属性に関する傾向と特徴

香道を未経験であると回答した者のうち、参加体験の意向を示さない者が 59.0%いる一方、41.0%が体験内容に関する選択肢をいずれか選択しており、未経験者の中でも機会があれば参加したいという意向を持つ者がいる。

これら参加意向を示す者は、他の香道を未経験と回答した者と比べた場合、趣味・娯楽等の活動に対して消極的ではない者であり、消費行動への明確な意見を有し、普段から幅広いメディアに触れている傾向にある。ただし、香道の経験者と比べた場合、茶道や華道、邦楽などの日本の伝統的な文化への参加率はあまり高くないことから、趣味・娯楽の活動として伝統的な文化への接触はやや低い傾向にある。

2) 未経験者が考える参加しやすい体験の条件と内容についての傾向と特徴

BQ16、BQ17のクロス集計の結果から、未経験者のうち、参加体験をしたいとの意向を示した者の50~60%が、行きやすい場所と手頃な参加費用の2点を参加体験の条件としてとりわけ重視している傾向が見えてくる。

また、BQ16とBQ18とのクロス集計の結果からは、体験できなかった事情・理由として「そもそも知らなかった」、「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」と回答し、参加体験の意向を持つ者の多くが、香道を知る機会や、体験する機会を得ることができなかったことが分かる。

3) 香道の印象や魅力に関する傾向と特徴

未経験者の場合、香道に対する印象や魅力について、未経験であるが故に、具体的なイメージや魅力は分からないという当然の結果が導かれた。その点を踏まえて、経験者や参加体験者との印象や魅力への回答の差を見ると、参加体験や経験を重ねることで、具体的な印象やイメージ、魅力を描くことができるようになること、また、経験を重ねた者ほど、香りを楽しむことや、心を落ち着かせる、香木の焚き方が分かるといった、香道の持つ意義などの具体的な行為や意味等と魅力が結びつけられるようになっている。

参加体験ありと回答した者の傾向と特徴

次に、参加体験ありと回答した者の回答傾向を分析する。参加体験をした者は、何らかのきっかけがあって香道を体験する機会を得ており、しかし、習うまでには至ってはいない者と捉えることができる。ではどのような状況で体験機会を得たのか、また、習うまでには至らない事情や理由等があるのかをクロス集計を用いてその傾向と特徴を分析する。

■参加体験者の体験のきっかけと機会

体験のきっかけ（BQ9）を問う設問の結果から、学校や香舗、文化施設等で行われた体験イベントがきっかけであるという回答比率が36.2%と最も高く、次に友人・知人から誘われたり勧められたりしたとの回答比率が23.0%と続き、参加体験者の約4割は体験イベントをきっかけに香道の参加体験をしている傾向が見られる。また、体験の場（BQ10）については文化施設等で行われたイベントや、学校や職場のサークル活動、研修会と続き、学校や職場、文化施設等での体験機会が中心である。

体験したきっかけと体験機会の関係性の特徴や傾向を明らかにするため、BQ9とBQ10のクロス集計の結果が下の表である。前述のとおり、体験したきっかけが学校や香舗、文化施設等での体験イベント（36.2%）と回答した者のうち、「学校や職場の部活動、同好会やサークルが行った体験イベント」（52.8%）、「学校の授業や職場の研修会」（47.2%）で体験を行ったとの回答比率が高い。他方、「親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた」（11.9%）「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」（11.4%）を選択した者では、「自宅」で体験したとの回答比率が高く、「趣味や教養として、香道に興味関心があった」（16.5%）と回答した者は、「自宅」（33.0%）、「教室や稽古場、香や香木を扱う店（香舗）等で開かれた体験会」（23.6%）で体験を行っていたことが確認できる。

このような結果から、学校や職場、文化施設で開かれていたイベントをきっかけに、その場で行われた体験イベントで体験をした回答者が比率として高い傾向にあり、現状においては、学校や職場でのイベント等での体験機会による参加体験の提供が、香道を見知る場として大きい位置を占めている傾向が見られる。

香道を体験した場×香道を体験したきっかけ

	n=	BQ9香道を体験したきっかけ (%)										
		ど親が習った	ど親が教えた	ら友人・知人から勧められた	て友人・知人から勧められた	で友人・知人から勧められた	店（香舗）やイベント	学校や職場の部活動、同好会やサークルが行った体験イベント	文化施設等で行われた体験イベント	趣味や教養として、香道に興味関心があった	自宅	自分が行っている別の分野の趣味・習い事の中で体験
全体	1,227	11.9	11.4	23.0	36.2	13.6	16.5	5.1	12.8	2.5		
教室や稽古場、香や香木を扱う店（香舗）等で開かれた体験会	250	26.8	14.4	23.6	42.0	14.0	23.6	6.0	9.6	1.2		
学校の授業や職場の研修会	303	15.5	23.4	25.7	47.2	12.9	12.2	5.9	6.6	1.0		
学校や職場の部活動、同好会やサークルが行った体験イベント	326	9.8	16.0	32.5	52.8	18.4	18.4	6.4	4.6	0.6		
文化施設等で行われた体験イベント	360	11.1	10.6	29.7	44.7	19.7	19.7	7.2	6.9	0.6		
自宅	94	31.9	23.4	21.3	18.1	19.1	33.0	13.8	18.1	2.1		
自分が行っている別の分野の趣味・習い事の中で体験	187	5.9	8.0	16.0	15.0	8.0	19.3	6.4	52.4	3.2		
その他	30	6.7	3.3	10.0	10.0	20.0	6.7	-	6.7	53.3		

■香道を習いやすい状況

香道を習いやすい状況（BQ11）に関する設問の結果では、通いやすい場所（42.7%）、費用の手頃さ（37.9%）の2つが重視されている条件となっている。一方、香道に支払える月額費用（BQ12）を見ると、「5,000円未満」（55.1%）、「5,000円以上～10,000円未満」（23.1%）と続き、回答者の78.2%が1万円未満の費用であれば習いやすいと回答している。

BQ11とBQ12のクロス集計の結果を見ると、「5,000円未満」を選択した者の中では、習いやすい状況として「わからない」を選択している者が全体平均55.1%を大きく上回っているほか、時間帯の調整や教本等の有無、カリキュラムの提示と言った回答項目は平均を下回っている。

一方、「5,000円以上～10,000円未満」（23.1%）と回答した者の場合、通いやすい場所（28.6%）が平均を上回っているほか、費用や時間帯、カリキュラムの提示の項目で平均を少し上回っていることが分かる。

香道を習いやすい状況×香道に支払える月額費用

		BQ12香道に支払える月額費用 (%)											
		5000円未満	5000円以上～10000円未満	10000円以上～15000円未満	15000円以上～20000円未満	20000円以上～25000円未満	25000円以上～30000円未満	30000円以上～35000円未満	35000円以上～40000円未満	40000円以上～45000円未満	45000円以上～50000円未満	50000円以上	
n=30以上で 全体+10pt以上 全体+5pt以上 全体-5pt以下 全体-10pt以下	n=												
	全体	1,227	55.1	23.1	8.5	5.3	2.9	1.6	1.1	0.7	0.3	0.2	1.1
	家族や知人等、身近な人から習えたら	222	59.9	22.1	6.8	5.0	2.7	2.7	-	-	-	-	0.9
	通いやすい場所で習えたら	524	51.7	28.6	8.8	5.3	2.5	1.9	0.6	-	-	-	0.6
	費用が手頃だったら	465	55.1	24.9	9.2	4.7	2.2	1.9	0.9	0.4	0.4	-	0.2
	必要な道具等が借りられたら	299	52.5	22.7	8.7	6.4	4.0	2.7	1.7	0.7	-	-	0.7
	習う時間帯を調整してもらいやすかったら	214	38.8	27.1	9.8	8.9	6.1	4.7	2.3	1.4	0.5	-	0.5
	指導方法やカリキュラム、費用が具体的に示されていたら	195	48.7	25.6	9.2	6.2	3.6	4.6	0.5	-	1.0	0.5	-
	指導で教本やテキストを使っていたら	79	41.8	17.7	13.9	2.5	5.1	5.1	2.5	5.1	1.3	2.5	2.5
	その他	8	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	199	80.4	14.1	0.5	-	0.5	0.5	1.0	0.5	-	-	2.5	

※n=30未満は参考値のため灰色

次に、香道をこれまで習っていない理由（BQ13）に関する設問の結果では、「通いやすい場所に稽古場や教室がなかった」（34.3%）が最も多く、次いで「興味がなかった」（27.5%）、「習うための十分な時間が取れなかった」（18.4%）、「他の趣味や娯楽の方に関心が向いている」（17.1%）と続く。では、習いたいと考えている者は、どのような状況であれば習いやすいと考えている傾向が見られるのか。BQ11の習いやすい状況とのクロス集計を行い、参加体験者が習いやすい状況について分析を行う。

習いやすい状況について「わからない」（16.2%）と回答した者のうち、習わなかった理由で回答比率が高いものが、「興味がなかった」（34.3%）、「自分の趣味と合わない」（32.6%）の回答比率が高く、香道の体験をしても興味関心を持てなかったことが分かる。

一方、参加しやすい状況として、「通いやすい場所で習えたら」（42.7%）と回答した者が習ってい

ない理由として「通いやすい場所に稽古場や教室がなかった」(66.7%)が最も多く、次いで「稽古場や教室の雰囲気に分からなかった」(64.8%)、「習うための十分な時間が取れなかった」(58.4%)と続き、身近な場所で習いたいと思う一方で、教室が近くになかったり、雰囲気に分からなかったり、時間の確保が難しかったり等の事情が見える。「費用が手頃だったら」(37.9%)と回答した者の場合は、「稽古場や教室等の雰囲気に分からなかった」(60.0%)の回答比率が高く、次いで「カリキュラムの内容や必要となる費用等の十分な情報が明示されていなかった」(58.3%)、「習うための十分な時間が取れなかった」(57.5%)と続いている。

クロス集計の結果を見る限り、回答者にとって香道を習いやすい状況とは、香道を習わなかった事情や理由と密接な関係があり、通える場所や時間、習う内容や教室等の雰囲気といった部分が、習い始める時に参加体験者にとってのハードルになりやすくなっている傾向が見える。

香道を習っていない理由×香道を習いやすい状況

	n=	BQ11香道を習いやすい状況 (%)									
		か家族ら ら習いや ええた た人等、 身近な 人	ら通 い や す い 場 所 で 習 え た	費 用 が 手 頃 だ っ た ら	た必 ら 要 な 道 具 等 が 借 り ら れ	ら習 い う 時 間 帯 を 借 り し て も	れ指 ム 導 て い た ら が や 具 体 的 に キ ュ ラ さ	使指 導 つ て い た ら が や テ キ ス ト を	そ の 他	わ か ら な い	
全体	1,227	18.1	42.7	37.9	24.4	17.4	15.9	6.4	0.7	16.2	
興味がなかった	338	20.7	29.6	26.9	14.8	8.0	12.1	4.4	1.2	34.3	
通いやすい場所に稽古場や教室がなかった	421	18.3	66.7	52.5	32.3	23.8	18.3	7.6	0.5	5.0	
習うための授業料等の費用が確保できなかった	200	18.0	46.5	55.5	39.0	30.0	19.0	7.5	0.5	4.0	
習うための十分な時間が取れなかった	226	23.0	58.4	57.5	40.3	36.7	25.2	8.8	0.4	2.7	
カリキュラムの内容や必要となる費用等の十分な情報が明示されていなかった	127	18.9	50.4	58.3	40.9	39.4	36.2	15.7	-	2.4	
稽古場や教室等の雰囲気に分からなかった	105	16.2	64.8	60.0	47.6	38.1	34.3	11.4	-	6.7	
習う内容についていけるかどうか不安がある	113	23.0	57.5	46.0	38.9	33.6	28.3	15.0	-	8.0	
他の趣味や娯楽の方に興味が向いている	210	23.3	48.6	45.7	30.0	19.5	24.3	10.5	0.5	16.2	
自分の趣味と合わない	89	25.8	16.9	21.3	14.6	11.2	18.0	11.2	2.2	32.6	
その他	12	16.7	58.3	58.3	33.3	25.0	16.7	8.3	16.7	16.7	

※n=30未満は参考値のため灰色

上記のクロス集計の結果から、香道の参加体験ありと回答した者の特徴や傾向をまとめると、以下のとおりである。

1) 参加体験者の体験機会ときっかけの傾向と特徴

BQ9とBQ10のクロス集計結果の分析から、学校や職場、文化施設で開かれていたイベントをきっかけとして香道を体験した者が多い傾向にある。他方、親族が香道を習ったり、教えていたりした場合や、興味関心があって香道をした場合、自宅や稽古場・教室が体験機会の場になっており、体験のきっかけの違いによって、体験する機会や場が異なる傾向にあることが分かる。また、学校や職場等での体験イベントが香道を知り・体験する場としての位置は大きいことから、香道に関する担い手の活動の場ともなっていると推察される。

2) 参加体験者が考える習いやすい状況や内容についての傾向と特徴

参加体験者が香道を習いやすい状況や内容について、月に支払える費用と習いやすい状況とのクロス集計結果からは、月額費用として5,000円以上を支払うと回答した者ほど、習いやすい具体的な状況について回答している傾向にあり、香道を習っても良いと考える者と捉えることができる。

習っていない理由と習いやすい状況とのクロス集計結果からは、参加体験をしても香道に興味を持てなかった者が一定数いる一方で、興味関心があっても通える場所がない等の事情があることが分かる。加えて、習うための時間の確保や、習う場所の雰囲気分からない等も回答として多く、参加体験者にとって、習う内容や機会に関する詳しい情報があつた方が、習い始めやすいと考えていることが、回答結果の分析からうかがえる。

経験ありと回答した者の傾向と特徴

経験ありと回答した者の回答傾向について分析を行う。経験者がどのような経緯や場所で香道を習い始め、どの程度の者が継続してきたのかを分析することで、参加体験者と未経験者との違いを明らかにする。

■始めたきっかけと継続性及び継続理由

香道を習い始めたきっかけ（BQ1）の結果では、「親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた」（31.2%）が最も高く、次いで「友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた」（25.3%）、「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」（22.3%）、「趣味や教養として、香道に興味関心があった」（21.5%）と続いている。香道の経験ありと回答した者の身近には、香道に関わる者がいたり、香道に関する情報やイベントがあったりしたことで、香道を習い始めるきっかけが生み出される背景があったことが推察される。

次に、習い始めたきっかけ（BQ1）と現在の継続状況（BQ3）についてクロス集計を行い、始めたきっかけと継続率の関係を分析する。継続率の全体平均（46.0%）に対し、「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」（73.6%）、「親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた」（67.2%）の回答者の継続率は、全体平均を上回っている。反対に、非継続率の全体平均（54.0%）を比べると、「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」（78.2%）が平均を大きく上回っていることから、親族などが香道に関わっていることをきっかけとして習い始めた回答者の方が、継続率が高い傾向にある。反対に、自分の趣味との関わりの中で香道を習い始めた者は、何らかの理由で継続できていない傾向にあることが分かる。

香道を習い始めたきっかけ×現在の継続状況

	n=	BQ3 活動の継続 (%)	
		続けている	続けない
全体	391	46.0	54.0
親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた	122	67.2	32.8
親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた	87	73.6	26.4
友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた	99	49.5	50.5
学校の授業や、香や香木を扱う店（香舗）での体験会、文化施設等で行われたイベントで体験した	72	55.6	44.4
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	47	55.3	44.7
趣味や教養として、香道に興味関心があった	84	42.9	57.1
香道に係る仕事や職業に興味関心があった	28	64.3	35.7
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	55	21.8	78.2
その他	10	10.0	90.0

※n=30未満は参考値のため灰色

次に、継続理由に関する設問（BQ3補問1）では、「指導者や教授者として活動したい（している）」（45.6%）の回答比率が最も高く、次いで「日本の文化だから」（44.4%）、「一緒に楽しむ仲間がいる」（30.6%）、「香木等の焚き方や、香席のしつらいの仕方など、奥深い文化をもっと知りたい」（24.4%）と続いている。始めたきっかけ（BQ1）とのクロス集計を行い、継続する理由ときっかけの関係性について分析を行うと、まず継続理由として最も回答比率が高かった「指導者や教授者として活動したい（している）」と回答した者の中でも「親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた」（69.5%）の回答比率が高い。

また、「日本の文化だから」と回答した者の場合は、「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」（73.4%）の回答比率が全体平均を大きく上回っているほか、「友人・知人などからの習うことを勧められた・誘われた」（61.2%）、「学校の授業や、香や香木を扱う店（香店舗）での体験会、文化施設等で行われたイベントで体験した」（60.0%）、「趣味や教養として、香道に興味関心があった」（58.3%）も上回っている。

香道を習い始めたきっかけ×香道を続けている理由

		BQ3補問1 香道を続けている理由 (%)									
		動指 し導 した 者 い や 教 授 者 と し て 活	日 本 の 文 化 だ か ら	一 緒 に 楽 し む 仲 間 が い る	た 奥 の 香 木 等 の 焚 き 方 や 、 香 席 の し つ ら い の 仕 方 な ど	香 木 等 の 焚 き 方 や 、 香 席 の し つ ら い の 仕 方 な ど	が 香 席 地 で よ く 香 木 等 の 香 り	し 習 、 つ 生 活 の く う 部 ち と な っ た ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い	上 は 記 の 中 で 当 て は ま る も
	n=										
全 体	180	45.6	44.4	30.6	24.4	15.6	16.7	-	-	-	-
親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた	82	69.5	46.3	29.3	23.2	14.6	18.3	-	-	-	-
親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた	64	48.4	73.4	37.5	35.9	20.3	20.3	-	-	-	-
友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた	49	42.9	61.2	46.9	38.8	22.4	20.4	-	-	-	-
学校の授業や、香や香木を扱う店（香舗）での体験会、文化施設等で行われたイベントで体験した	40	42.5	60.0	65.0	52.5	22.5	30.0	-	-	-	-
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	26	46.2	69.2	69.2	61.5	42.3	46.2	-	-	-	-
趣味や教養として、香道に興味関心があった	36	44.4	58.3	55.6	55.6	47.2	47.2	-	-	-	-
香道に係る仕事や職業に興味関心があった	18	50.0	66.7	50.0	50.0	38.9	66.7	-	-	-	-
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	12	41.7	50.0	66.7	58.3	58.3	75.0	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-

※n=30未満は参考値のため灰色

香道から離れたきっかけや理由（BQ3補問2）を見ると、「時間がなくなった」（36.0%）と「近くに習う場所がなくなった」（25.6%）が大きな理由となっている。

始めたきっかけ（BQ1）と離れたきっかけをクロス集計しその関係を分析すると、回答比率が最も高い「時間がなくなった」と回答した者の場合、始めたきっかけとして「親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた」（55.0%）が最も回答比率が高く、「友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた」（46.0%）も全体平均を上回っている。また、「近くに習う場所がなくなった」と回答した者の場合は、「友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた」（38.0%）、「学校の授業や、香や香木を扱う店（香舗）での体験会、文化施設等で行われたイベントで体験した」（37.5%）の2項目が全体平均を上回っている。

一方、「当初目標としていたことが達成できた」（11.8%）と回答した者のうち、「学校の授業や、香や香木を扱う店（香舗）での体験会、文化施設等で行われたイベントで体験した」（25.0%）をきっかけとした回答比率が高い。

親族が香道と関わりを持っていたことをきっかけに習い始めた者の場合、習う場所等の確保はしやすい一方で、時間がなくなったりするほか、一緒に活動する者が辞めてしまったことも、香道から離れてしまう要因となっている。一緒に活動する者が辞めてしまったことで、継続できなくなったという理由は、友人・知人からの勧めで香道を習い始めた者も同じ傾向が見られるほか、習う場所がなくなってしまうことも継続できなくなった理由として回答比率が高いことが分かる。

香道を習い始めたきっかけ×香道から離れたきっかけや理由

	n=	BQ3補問2 香道から離れたきっかけ (%)									
		時間がなくなりました	近くに習う場所がなくなりました	当初目標としていたことが達成できなかった	興味を失った	経済的に続けるのが難しい	健康面、体調面で続けるのが難しい	一緒に活動する家族や友人等が辞めてしまった	習っていない内容について	指導者や教授者を引退した	その他
全体	211	36.0	25.6	11.8	17.1	7.1	3.8	9.5	6.6	8.1	5.2
親や兄弟姉妹、祖父母などが習っていた	40	55.0	17.5	7.5	15.0	7.5	2.5	15.0	5.0	-	-
親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた	23	39.1	34.8	30.4	13.0	13.0	13.0	8.7	-	13.0	-
友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた	50	46.0	38.0	14.0	20.0	6.0	8.0	16.0	2.0	10.0	-
学校の授業や、香や香木を扱う店（香舗）での体験会、文化施設等で行われたイベントで体験した	32	25.0	37.5	25.0	18.8	12.5	-	9.4	3.1	9.4	6.3
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	21	23.8	28.6	14.3	28.6	4.8	-	4.8	4.8	-	14.3
趣味や教養として、香道に興味関心があった	48	31.3	29.2	16.7	14.6	6.3	4.2	14.6	10.4	4.2	4.2
香道に係る仕事や職業に興味関心があった	10	20.0	-	30.0	10.0	-	20.0	10.0	10.0	20.0	-
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	43	37.2	25.6	9.3	14.0	2.3	-	14.0	9.3	11.6	7.0
その他	9	22.2	11.1	-	-	11.1	-	-	11.1	11.1	44.4

※n=30未満は参考値のため灰色

以上のようなクロス集計の結果からは、親族などが香道に関わっていることをきっかけとして香道を習い始めた者については、継続性が高い傾向にあり、とりわけ親族が習っていたことをきっかけに香道を習い始めた者の場合、自身が教授者として活動しているか、今後教授者として活動しようと考えている傾向が見られる。

一方、イベントでの体験やメディアを通じて、香道を習い始めた者については、継続性は決して低くはないが、継続できなかった者については、習う場所がなくなったり、時間がなくなったりと、継続できる環境が失われてしまったことが確認できる。

■活動内容

香道に関する活動内容（BQ5）の結果では、「教室や稽古場で習っている（いた）」（50.1%）が半分を占め、次いで「カルチャーセンターの講座等を受講している（いた）」（30.2%）、「学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している（いた）」（27.9%）と続く。

まず、活動内容（BQ5）と現在の継続状況（BQ3）についてクロス集計を行い、活動内容と継

続率の関係を分析する。このうち継続していると回答した者（46.0%）の中で、「カルチャーセンターの講座等を受講している（いた）」（67.8%）が最も回答比率が高く、次いで「指導者や教授者として教えている（いた）」（58.8%）、「学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している（いた）」（56.0%）と続く。

香道に関する活動内容×現在の継続状況

(%)

	n=	BQ3 現在の継続状況	
		続けている	続けない
全体	391	46.0	54.0
教室や稽古場で習っている(いた)	196	48.0	52.0
カルチャーセンターの講座等を受講している(いた)	118	67.8	32.2
学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している(いた)	109	56.0	44.0
指導者や教授者として教えている(いた)	34	58.8	41.2
その他	21	14.3	85.7

※n=30未満は参考値のため灰色

次に、活動内容（BQ5）と経験年数（BQ4）についてクロス集計を行い、関係性を分析する。教室や稽古場、あるいはカルチャーセンターでの受講している者の場合、1年未満との回答比率は平均以下であるが、その他の回答比率は平均を少し上回る回答比率となっており、教室や稽古場では20年以上習い続けている者も確認できる。

また、経験年数が「20年以上」（6.1%）と回答した者のうち、「指導者や教授者として教えている（いた）」（26.5%）と全体平均を大きく上回っているほか、「3～5年未満」（19.9%）でも「指導者や教授者として教えている（いた）」（38.2%）が大きく上回る回答比率となっている。

香道に関する活動内容×香道を続けている年数

(%)

	n=	BQ4 香道を続けている年数						
		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	3年以上合計
全体	391	27.6	24.8	19.9	12.5	9.0	6.1	47.6
教室や稽古場で習っている(いた)	196	26.0	25.0	17.3	14.8	9.2	7.7	49.0
カルチャーセンターの講座等を受講している(いた)	118	17.8	29.7	22.9	16.1	10.2	3.4	52.5
学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している(いた)	109	21.1	23.9	24.8	11.9	11.9	6.4	55.0
指導者や教授者として教えている(いた)	34	11.8	2.9	38.2	2.9	17.6	26.5	85.3
その他	21	52.4	14.3	4.8	4.8	19.0	4.8	33.3

※n=30未満は参考値のため灰色

活動内容（BQ5）と活動頻度（BQ6）についてクロス集計を行い、関係性を分析する。「ほぼ毎日」（13.8%）と回答した者のうち、「指導者や教授者として教えている（いた）」（26.5%）が全体平均を大きく上回っているほか、「教室や稽古場で習っている（いた）」（19.9%）と高い。一方、「週に2～3回」（13.8%）と回答した者では、「カルチャーセンターの講座等を受講している（いた）」（23.7%）、「指導者や教授者として教えている（いた）」（20.6%）の項目への回答比率が高い。また、「週1回程度」（23.3%）と回答した者では、同好会やサークルでの活動（30.3%）、カルチャーセンターでの受講（28.8%）の回答比率が高いほか、指導者や教授者としての活動（8.8%）は著しく低い。

このように、指導者や教授者として活動している者の場合、ほぼ毎日か週に2～3日程度の活動頻度であり、教室や稽古場で習っている者もほぼ毎日の回答比率が高い傾向にあることから、稽古場や教室での活動状況の傾向がうかがえる。

香道に関する活動内容×香道に関する活動頻度

		BQ6 香道に関する活動頻度 (%)							
		ほぼ毎日	週に2～3回	週1回程度	月数回程度	月1回程度	年数回程度	年1回程度	
n=30以上で 全体+10pt以上 全体+5pt以上 全体-5pt以下 全体-10pt以下	n=								
	全体	391	13.8	13.8	23.3	17.4	14.1	6.4	11.3
	教室や稽古場で習っている(いた)	196	19.9	13.3	21.4	18.4	15.3	4.6	7.1
	カルチャーセンターの講座等を受講している(いた)	118	11.9	23.7	28.8	16.1	9.3	6.8	3.4
学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している(いた)	109	13.8	11.9	30.3	11.9	15.6	7.3	9.2	
指導者や教授者として教えている(いた)	34	26.5	20.6	8.8	20.6	8.8	2.9	11.8	
その他	21	9.5	4.8	9.5	-	-	14.3	61.9	

※n=30未満は参考値のため灰色

活動内容（BQ5）と毎月使う費用（BQ7）についてクロス集計を行い、関係性を分析する。

「5,000円未満」（42.5%）と回答した者のうち、「教室や稽古場で習っている（いた）」と回答した者以外の項目は、全体平均を下回っている。

次に5,000円以上の月額費用を払っている場合を見ると、「カルチャーセンターの講座等を受講している（いた）」は、「5,000円未満」「40,000円以上～45,000円未満」以外の費用で全体平均を上回っている。一方、「教室や稽古場で習っている（いた）」と回答している者の費用は「5,000円未満」（43.9%）、「5,000円以上～10,000円未満」（20.9%）、そのほかは35,000円以上50,000円未満の各項目で平均を少し上回っていることが確認できる。

香道に関する活動内容×香道に関する月額費用

	n=	BQ7 香道に関する月額費用 (%)											
		5 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 円 以 上 未 満	1 1 5 0 円 未 満	2 1 0 5 円 未 満	2 2 5 0 円 未 満	3 2 0 5 円 未 満	3 3 5 0 円 未 満	4 3 0 5 円 未 満	4 4 5 0 円 未 満	5 4 0 5 円 未 満	5 0 円 以 上	合 計
全体	391	42.5	18.4	14.3	7.2	5.4	3.8	2.3	1.0	1.0	0.8	3.3	39.1
教室や稽古場で習っている(いた)	196	43.9	20.9	11.7	6.6	4.6	2.0	2.6	1.5	1.5	1.5	3.1	35.2
カルチャーセンターの講座等を受講している(いた)	118	26.3	18.6	19.5	11.0	6.8	7.6	3.4	1.7	-	0.8	4.2	55.1
学校や職場などの部活動、同好会、サークルに所属して活動している(いた)	109	33.9	11.9	16.5	10.1	9.2	5.5	3.7	1.8	1.8	-	5.5	54.1
指導者や教授者として教えている(いた)	34	17.6	17.6	14.7	8.8	14.7	-	5.9	-	-	-	20.6	64.7
その他	21	81.0	9.5	4.8	-	-	-	-	-	-	-	4.8	9.5

※n=30未満は参考値のため灰色

■経験年数

香道を続けている年数（BQ4）の結果では、「1年未満」（27.6%）の回答比率が最も高く、次いで「1～3年未満」（24.8%）、「3～5年未満」（19.9%）と続いている。

経験年数（BQ4）と習い始めたきっかけ（BQ1）のクロス集計を行い関係性について分析する。「親や兄弟姉妹、祖父母などが教えていた」（22.3%）を回答した者のうち、「3～5年未満」（33.3%）が平均を大きく上回っているほか、「趣味や教養として、香道に興味関心があった」（21.5%）において「10～20年未満」（48.6%）も大きく全体平均を上回っている。

きっかけとして、親族が香道を習っていたり教えていたり、趣味や教養として興味関心があったと回答した者ほど、経験年数が長い傾向が見られる。

香道を続けている年数×香道を習い始めたきっかけ

	n=	BQ1 香道を習い始めたきっかけ (%)									
		ど 親 が 習 い た 、 祖 父 母 な	ど 親 が 兄 弟 姉 妹 、 祖 父 母 な	れ こ 友 人 を 、 勤 め ら れ た か ら 誘 わ う	れ 験 を 知 り た 、 友 人 に 誘 わ れ た	学 校 の 教 員 に 習 い た	知 画 レ ッ ク ス 、 テ レ ビ 、 ユ ー ー ビ 、 エ ン ト 、 メ ド イ ア 、 マ グ ジ ン 、 ア ニ メ 、 電 子 書 庫 、 電 子 楽 曲 、 電 子 遊 び 機 、 電 子 読 書 機 、 電 子 辞 書 、 電 子 辞 書 機 、 電 子 辞 書 機 、 電 子 辞 書 機	に 興 味 や 関 心 が あ っ た 、 香 道	興 味 や 関 心 が あ っ た 、 職 業 に	し 野 心 が あ っ た 、 別 の 関 心	そ の 他
全体	391	31.2	22.3	25.3	18.4	12.0	21.5	7.2	14.1	2.6	
1年未満	108	31.5	8.3	17.6	11.1	10.2	12.0	1.9	15.7	6.5	
1～3年未満	97	22.7	23.7	27.8	22.7	9.3	16.5	6.2	11.3	-	
3～5年未満	78	25.6	33.3	33.3	20.5	14.1	21.8	7.7	7.7	1.3	
5～10年未満	49	38.8	26.5	26.5	20.4	18.4	28.6	10.2	12.2	2.0	
10～20年未満	35	40.0	25.7	22.9	22.9	8.6	48.6	14.3	20.0	-	
20年以上	24	54.2	29.2	25.0	16.7	16.7	29.2	16.7	33.3	4.2	

※n=30未満は参考値のため灰色

次に経験年数（BQ4）と習い始めた当初の習い方を選んだ理由（BQ2補問）のクロス集計を行い関係性について分析する。「特に理由はない、わからない」（9.2%）では、「1年未満」（23.1%）が大きく全体平均を上回り、その他の項目は全て全体平均を下回っていることから、選んだ理由が特でない傾向が見える。そのほか、「10～20年未満」では、「通いやすい場所だった」以外の項目で全体平均を上回っている。

香道を続けている年数×当初の習い方を選んだ理由

		BQ2補問 その方法を選んだ理由 (%)										
		家族や友人等と一緒に良かった	通いやすい場所だった	費用が手頃だった	道具等が借りられた	通いやすい時間帯だった	費用が指導致方法や器具に示されてい	本格的に習ってみたい	手軽に習ってみたかった	その他	特に理由はない、わからない	
	n=											
	全体	391	33.2	36.3	21.7	14.3	16.6	15.1	10.5	13.6	1.0	9.2
	1年未満	108	29.6	21.3	12.0	5.6	10.2	4.6	4.6	11.1	1.9	23.1
	1～3年未満	97	34.0	45.4	20.6	11.3	13.4	16.5	8.2	14.4	1.0	2.1
	3～5年未満	78	29.5	38.5	25.6	20.5	19.2	25.6	15.4	6.4	-	2.6
	5～10年未満	49	32.7	46.9	36.7	18.4	20.4	14.3	6.1	18.4	-	4.1
	10～20年未満	35	42.9	31.4	22.9	22.9	31.4	22.9	22.9	22.9	2.9	2.9
	20年以上	24	45.8	45.8	25.0	25.0	20.8	12.5	20.8	20.8	-	16.7

※n=30未満は参考値のため灰色

経験年数（BQ4）と香道に関する興味関心や魅力（BQ8）のクロス集計を行い関係性について分析する。興味関心や魅力として最も回答比率が高かった「香木等を焚きその香りを楽しむ」（45.5%）を回答した者の中では、「1年未満」（53.7%）の経験年数の者が最も回答比率が高い。そのほか、「香席のしつらえや、そこから感じる事ができる四季等」（25.8%）では、「3～5年未満」（35.9%）、「香木等に応じた焚き方が分かる」（31.7%）では、「10年～20年未満」（48.6%）と平均を上回っている。

なお、回答比率があまり高くなかった「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」（12.8%）は、経験年数が長くなるにつれて回答比率が上がっている。経験年数に関わりなく、香木の香りを楽しむことが香道の魅力として捉えられている一方、経験年数が1年未満の者については、まだ魅力をとらえていないことが「上記の中で当てはまるものはない」（25.0%）の回答比率が全体平均より高いことからもうかがえる。

香道を続けている年数×香道に関する興味関心や魅力

(%)

		BQ8 香道に関する興味関心や魅力													
		楽しめる	香木等を焚きその香りを	分香する	香木等に	応じた焚き方が	四季感の	じつとえや	できそこ	が落ちる	集客力を高めたり、心を	主客の心の交流	て日本内外に伝統的な文化として	その他	の上記の中で当てはまるもの
	n=														
全体	391	45.5	31.7	25.8	32.5	13.3	12.8	-	12.3						
1年未満	108	53.7	13.0	8.3	17.6	4.6	3.7	-	25.0						
1～3年未満	97	39.2	39.2	30.9	30.9	18.6	12.4	-	6.2						
3～5年未満	78	37.2	34.6	35.9	37.2	12.8	14.1	-	9.0						
5～10年未満	49	42.9	38.8	34.7	42.9	10.2	16.3	-	6.1						
10～20年未満	35	48.6	48.6	28.6	57.1	25.7	28.6	-	2.9						
20年以上	24	62.5	37.5	29.2	33.3	20.8	20.8	-	16.7						

※n=30未満は参考値のため灰色

上記のクロス集計の結果から、香道の経験ありと回答した者の傾向や特徴をまとめると、以下のとおりである。

1) 習い始めたきっかけと継続率に見える傾向と特徴

親族が香道を教えていたり習っていたりしたことをきっかけとして、香道を習い始めた者の継続率が特に高い傾向にあり、イベントでの体験やメディアを通じて興味関心を持って香道を習い始めたと回答した者も継続率が高い。このうち、親族が香道と関わりを持っていたと回答した者は、自身が香道の指導者や教授者として活動している率が全体平均より高い傾向にある。

一方、習い始めたきっかけと辞めてしまった理由との関係を見ると、親族が香道を習っていた者の場合は時間が確保できずに辞めている傾向が強く、友人・知人から勧められた者やイベント体験を通じて習い始めた者の場合は、習う場所がなくなってしまったために辞めざるを得なかった傾向にある。また、親族や友人・知人との関係性の中で習い始めた者の中では、一緒に習う人が辞めてしまった場合、自分も辞めてしまう場合があることが集計結果からうかがえる。

2) 活動内容と継続している年数から見える傾向と特徴

カルチャーセンターで香道を受講している者や、指導者・教授者として活動している者の経験年数が高い傾向にあり、カルチャーセンターで受講している者は1年以上から10年未満、指導者・教授者は3～5年未満や、10年以上の回答比率が高い傾向にある。また、教室や稽古場で習っている者の継続率を見ると、経験年数5年以上で全体平均を少し上回っている。

活動頻度の傾向としては、カルチャーセンターで受講する者は週1回程度、もしくは週2～3回程度の頻度が多く、指導者・教授者の場合はほぼ毎日、もしくは週2～3回程度の回答比

率が高い傾向にあり、各活動内容による頻度の違いが見られる。また、月額費用についてはカルチャーセンターで受講している者の場合は10,000～15,000円未満、指導者・教授者として活動している者は20,000～25,000円未満の回答比率が高い傾向にある。

3) 経験年数と習い始めたきっかけや魅力から見える傾向と特徴

経験年数と習い始めたきっかけとの関係を見ると、親族等が香道を習っていたあるいは教えていた場合や、趣味や教養として興味があり香道を習い始めた者で経験年数が長い傾向が見られる。当初の習い方を選んだ理由については、経験年数10～20年未満の者で、通いやすい場所以外の項目で全体平均を上回っているほか、経験年数が1年未満の場合は、特に理由がないとの回答比率が高く、対照的な傾向が見られる。

経験年数と興味関心や魅力との関係を見た場合、香木を焚き香りを楽しむことについては、経験年数に関わりなく、魅力や興味関心として捉えられている。その一方で、主客の交流や伝統文化として国内外へ知られていること、香席のしつらいなどの項目は経験年数が長くなるほどに回答比率が高くなる傾向が見られ、逆に1年未満の場合は、当てはまるものがないとの回答比率が高く、経験を重ねていくことで、魅力や興味関心の捉え方が変化しているものと推察される。

③分析結果のまとめ

香道の経験・体験の有無や、経験者や参加体験者、未経験者の香道への活動状況や興味関心の度を把握することを目的としてウェブアンケートを利用した調査を実施した。

調査結果からは、香道の未経験者が圧倒的に多いことが分かった。未経験者が多いことについては、設問群の回答結果からも見えるように、興味関心が持てなかった、関心が向かない者がいる一方で、そもそも香道を知らなかった者が多くいることに注目する必要がある。また、香道を知ってはいるが、気軽に体験できる場がなかった、あるいは体験できる場自体を知らなかったことで、参加体験には至らなかった者もいることが明らかになった。

一方で、経験者や参加体験者の場合は、香道について知る機会や体験をする場に接する機会があったことから、香道を経験することができたことが分かる。経験者の場合、親族が香道を習ったり教えたりしていた、あるいは、友人・知人から勧められたことが習い始めるきっかけとして大きな要因になっている。また、参加体験者の場合は、学校や香舗、文化施設等での体験イベントをきっかけとして体験をしたとの回答比率が高く、経験者・参加体験者・未経験者のそれぞれに、香道を知る機会、接することができる機会や環境に大きな開きがあることが、調査結果の分析から見えてくる。

経験者の活動状況等については、約5割は継続していない状況で、継続している者については若い世代ほどに継続率が高く、経験年数が長いほどに継続している傾向にある。一方で、継続していない者が続けられなかった事情からは、時間がなくなった、習う場所がなくなった等の事情があることが傾向として見え、回答者の環境を整えば再開する可能性があることも推察される。

参加体験者の活動状況等については、参加体験をしたきっかけと体験した機会のクロス集計から、学校や香舗等で体験機会を得たという回答比率が高い傾向にあり、香道の指導者や教授者がこれらの場において、体験機会の醸成などを図っている事例もあることから、香道を参加体験する大きなきっかけとして作用していることが分かる。また、参加体験者がこれまで香道を習うに至らなかった理由や事情からは、参加体験をしても興味関心を持てなかった者もいる一方で、通いやすい場所や時間帯、教室や稽古場の雰囲気分かるようであれば習いたいと考えている者がいることから、教室や稽古場を開いている指導者や教授者が、稽古の日時や調整が可能かどうかを告知したり、教室等を見学できる機会を設けたりするなど、無理のない範囲で工夫を行うことで、習いに行きたい人に広く機会を提供できる可能性があることが分かる。

上記の結果から、香道の経験者や参加体験者を増やしていくことを想定した場合、学校や香舗等での体験機会はもちろんのこと、香道を体験できるイベントなどを広く行うと共に、これらの体験機会自体を、新聞や雑誌あるいはインターネット等のメディアも扱いながら、広く周知する工夫を行うことで、香道そのものの一般への認知を高めつつ、経験者や参加体験者を増やす可能性を上げることができるものと考えられる。また、習うことができる場所の周知をはじめ、習う内容や時間帯など、習いたいと考えている者に適切に情報を伝えていくことも有効な取組として考えられる。